

令和2年3月1日以降適用 工事数量算出要領 新旧対照表

目次

- 1章 基本事項
- 2章 土工
- 3章 コンクリート工
- 5章 擁壁工
- 7章 基礎工
- 8章 構造物取壊し工
- 13章 道路工
- 17章 橋台・橋脚工
- 19章 管水路工
- 20章 営農飲雑用水施設工
- 21章 ほ場整備工
- 22章 農地造成工
- 23章 参考資料
- 24章 数量計算書書式（例）

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p style="text-align: center;">北海道農政部制定工事数量算出要領の変更点について</p> <p>1. 経緯</p> <p>(1) 農業農村整備事業で実施する工種が、多種多様化し、工事価格積算に係わる材料算出方法も複雑化しているため、平成9年に工事価格積算の合理化を図り、事業の効率的な執行を行うため、数量算出の参考になる工事数量算出要領が発行された。</p> <p>(2) 北海道農政部が施行する農業土木工事にかかる工事費用の積算及び契約における透明性・客観性を向上し、発注者・受注者間の共通認識の形成を図るため、工事工種の体系化を定めている。工事数量算出要領は、契約及び積算上必要な根拠数量を合理的に算出するために、算出項目、算出単位、算出方法等を標準的に定める必要がある。</p> <p>(3) このため、今回、工事工種体系及び工事積算基準と整合を図り、新たに制定を行う。</p> <p>2. 目的</p> <p>(1) 数量根拠の明示 工事工種体系に準拠することにより、数量算出においても、受注者・発注者が本書を利用することで相互に理解できる数量根拠の明示を図る。</p> <p>(2) 品質向上と数量とりまとめ作業の効率化 数量計算書様式の統一化による品質向上とそれに伴う照査時間の短縮等、作業の効率化を目的とする。</p> <p>(3) 積算業務の合理化 積算に必要な数量として、①工事目的物の数量、②工事目的物の各構成工種の数量、③歩掛算出に必要な数量等がある。設計段階による積算を考慮し、数量を算出し整理しておく必要がある。これらのことが考慮されている工事数量算出要領を用いて数量を算出することにより、合理化を図る。</p> <p>(4) 契約内容の明確化 設計者、発注者、受注者の立場の異なる3者が同一の数量算出要領を利用することにより、契約及び積算上の工事目的物ごとの数量算出項目、算出方法等について、共通認識を持つことができ、契約内容の明確化を図り、円滑な事業執行を可能とすることを目的とする。</p> <p>3. 主な変更内容</p> <p>(1) 歩掛や積算資料との記載内容の区分の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積算基準（歩掛）、積算資料と区分を明確化し、数量算出時に必要となるものを工事数量算出要領に掲載する。 <p><u>(2) 数量調書様式の統一化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>働き方改革に対応した「業務改善プログラム」の「業務の効率化」の一環として、工事工種の体系化に則した数量調書を掲載する。</u> <p><u>(3) その他の見直し</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数量の単位など、他機関との整合性を図る。 ・ 工事工種体系及び積算基準の工種と整合性を図る ・ 土工などの共通工種について統廃合を図る。 	<p style="text-align: center;">北海道農政部制定工事数量算出要領の変更点について</p> <p>1. 経緯</p> <p>(1) 農業農村整備事業で実施する工種が、多種多様化し、工事価格積算に係わる材料算出方法も複雑化しているため、平成9年に工事価格積算の合理化を図り、事業の効率的な執行を行うため、数量算出の参考になる工事数量算出要領が発行された。</p> <p>(2) 北海道農政部が施行する農業土木工事にかかる工事費用の積算及び契約における透明性・客観性を向上し、発注者・受注者間の共通認識の形成を図るため、工事工種の体系化を定めている。工事数量算出要領は、契約及び積算上必要な根拠数量を合理的に算出するために、算出項目、算出単位、算出方法等を標準的に定める必要がある。</p> <p>(3) このため、今回、工事工種体系及び工事積算基準と整合を図り、新たに制定を行う。</p> <p>2. 目的</p> <p>(1) 数量根拠の明示 工事工種体系に準拠することにより、数量算出においても、受注者・発注者が本書を利用することで相互に理解できる数量根拠の明示を図る。</p> <p>(2) 品質向上と数量とりまとめ作業の効率化 数量計算書様式の統一化による品質向上とそれに伴う照査時間の短縮等、作業の効率化を目的とする。</p> <p>(3) 積算業務の合理化 積算に必要な数量として、①工事目的物の数量、②工事目的物の各構成工種の数量、③歩掛算出に必要な数量等がある。設計段階による積算を考慮し、数量を算出し整理しておく必要がある。これらのことが考慮されている工事数量算出要領を用いて数量を算出することにより、合理化を図る。</p> <p>(4) 契約内容の明確化 設計者、発注者、受注者の立場の異なる3者が同一の数量算出要領を利用することにより、契約及び積算上の工事目的物ごとの数量算出項目、算出方法等について、共通認識を持つことができ、契約内容の明確化を図り、円滑な事業執行を可能とすることを目的とする。</p> <p>3. 主な変更内容</p> <p>(1) 歩掛や積算資料との記載内容の区分の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積算基準（歩掛）、積算資料と区分を明確化し、数量算出時に必要となるものを工事数量算出要領に掲載する。 <hr/> <p><u>(2) その他の見直し</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数量の単位など、他機関との整合性を図る。 ・ 工事工種体系及び積算基準の工種と整合性を図る ・ 土工などの共通工種について統廃合を図る。 	<p>項目の追加</p> <p>項目番号の改正</p>

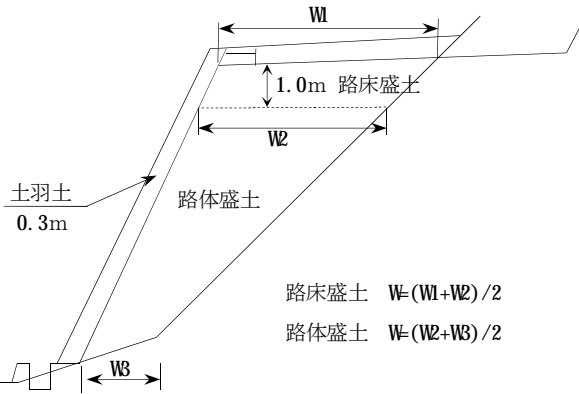
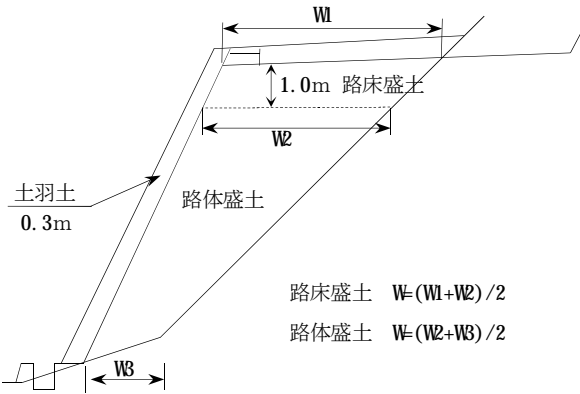
新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
目 次	目 次	
1章 基本事項 【省略】	1章 基本事項 【省略】	
2章 土 工	2章 土 工	
2.1 伐開工	2.1 伐開工 23	
2.1.1 伐木及び草刈	2.1.1 伐木及び草刈 24	
2.1.2 除根及びすき取り	2.1.2 除根及びすき取り 25	
2.1.3 伐開物集積・積込	2.1.3 伐開物集積・積込 25	
2.1.4 伐開物運搬	2.1.4 伐開物運搬 26	
2.1.5 すき取り物選別	2.1.5 すき取り物選別 27	
2.2 土 工	2.2 土 工 29	
2.2.1 土 工	2.2.1 土 工 29	
2.2.2 土工（道路工）	2.2.2 土工（道路工） 47	
2.2.3 土工（水路工）	2.2.3 土工（水路工） 65	
2.2.4 土工（パイプライン）	2.2.4 土工（パイプライン） 71	
2.2.5 土工（小水路掘削）	2.2.5 土工（小水路掘削） 73	
2.3 法面整形工	2.3 法面整形工 74	
2.3.1 法面整形工	2.3.1 法面整形工 74	
2.3.2 基面整正工	2.3.2 基面整正工 76	
<u>2.4 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工</u>		
<u>2.4.1 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工</u>		
【省略】	【省略】	項目の追加
19章 管水路工	19章 管水路工	
【省略】	【省略】	
<u>20章 営農飲雑用水施設工</u>		
<u>20.1 土工</u>		
<u>20.2 管体工</u>		
<u>20.2.1 管類布設工</u>		
<u>20.2.2 管切断工</u>		
<u>20.2.3 鋼管継手塗装</u>		
21章 ほ場整備工	20章 ほ場整備工	
21.1 設計数量算出の基本的な考え方	20.1 設計数量算出の基本的な考え方 351	
21.2 整地工	20.2 整地工 353	
21.2.1 整地工	20.2.1 整地工 353	
21.2.2 反転均平工	20.2.2 反転均平工 355	
21.2.3 畦畔築立工	20.2.3 畦畔築立工 357	
21.3 客土運搬工	20.3 客土運搬工 358	
21.4 法面整形工	20.4 法面整形工 359	
21.5 暗渠排水工	20.5 暗渠排水工 361	
21.5.1 暗渠排水工の数量について	20.5.1 暗渠排水工の数量について 361	
21.5.2 暗渠排水工	20.5.2 暗渠排水工 362	
21.5.3 水閘管及び接続管（無孔管）設置	20.5.3 水閘管及び接続管（無孔管）設置 365	
21.5.4 集中管理孔の設置	20.5.4 集中管理孔の設置 366	
		章追加による 章番号の改正
		[改正の頁は省略]

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>22章 農地造成工</p> <p>22.1 レーキドーザ除根・排根……………</p> <p>22.2 改良山成工……………</p> <p> 22.2.1 改良山成工（基盤造成工）……………</p> <p> 22.2.2 改良山成工（表土工）……………</p> <p>22.3 深耕及び反転客土工……………</p> <p>22.4 石礫除去……………</p> <p>22.5 土壌改良資材散布……………</p> <p>22.6 有機質資材散布……………</p> <p>22.7 碎 土……………</p> <p>22.8 耕起および碎土……………</p> <p>22.9 ブルドーザ畑面整地工……………</p> <p>22.10 鎮 圧……………</p> <p>22.11 心土破碎および透水渠掘削……………</p> <p>22.12 播種施肥……………</p> <p>22.13 リップドーザ岩掘削……………</p> <p>22.14 排根線除去……………</p> <p>22.15 混層耕（Ⅱ）……………</p> <p>22.16 隔障物工……………</p> <p> 22.16.1 本柱打込み……………</p> <p> 22.16.2 支柱取付……………</p> <p> 22.16.3 隔障物架線設置工……………</p> <p> 22.16.4 隔障物付属施設設置工……………</p> <p>22.17 パドック設置……………</p>	<p>21章 農地造成工</p> <p>21.1 レーキドーザ除根・排根…………… 369</p> <p>21.2 改良山成工…………… 372</p> <p> 21.2.1 改良山成工（基盤造成工）…………… 372</p> <p> 21.2.2 改良山成工（表土工）…………… 374</p> <p>21.3 深耕及び反転客土工…………… 375</p> <p>21.4 石レキ除去…………… 377</p> <p>21.5 土壌改良資材散布…………… 379</p> <p>21.6 有機質資材散布…………… 380</p> <p>21.7 碎 土…………… 381</p> <p>21.8 耕起および碎土…………… 383</p> <p>21.9 ブルドーザ畑面整地工…………… 385</p> <p>21.10 鎮 圧…………… 386</p> <p>21.11 心土破碎および透水渠掘削…………… 387</p> <p>21.12 播種施肥…………… 389</p> <p>21.13 リップドーザ岩掘削…………… 390</p> <p>21.14 排根線除去…………… 391</p> <p>21.15 混層耕（Ⅱ）…………… 392</p> <p>21.16 隔障物工…………… 393</p> <p> 21.16.1 本柱打込み…………… 393</p> <p> 21.16.2 支柱取付…………… 394</p> <p> 21.16.3 隔障物架線設置工…………… 395</p> <p> 21.16.4 隔障物付属施設設置工…………… 396</p> <p>21.17 パドック設置…………… 398</p>	<p>章追加による 章番号の改正</p> <p>項目名の改正</p>
<p>23章 参考資料</p> <p>23.1 鋼矢板および軽量鋼矢板寸法質量表……………</p> <p>23.2 山留材の断面性能、質量表（リース加工製品）＜参考＞……………</p> <p>23.3 木材の設計資料……………</p> <p>23.4 土量変化率の取り扱い……………</p> <p>23.5 除根物の根元直径による体積算出について……………</p> <p>23.6 建設副産物の積算数量の算出……………</p>	<p>22章 参考資料</p> <p>22.1 鋼矢板および軽量鋼矢板寸法質量表…………… 401</p> <p>22.2 山留材の断面性能、質量表（リース加工製品）＜参考＞…………… 404</p> <p>22.3 木材の設計資料…………… 405</p> <p>22.4 土量変化率の取り扱い…………… 408</p> <p>22.5 除根物の根元直径による体積算出について…………… 410</p> <p>22.6 建設副産物の積算数量の算出…………… 411</p>	
<p>24章 数量計算書書式（例）</p> <p>1 道路工……………</p> <p>2 水路工……………</p> <p>3 基礎工……………</p> <p>4 面工事……………</p>	<p>23章 数量計算書書式（例）</p> <p>1 道路工…………… 429</p> <p>2 水路工…………… 443</p> <p>3 基礎工…………… 455</p> <p>4 面工事…………… 465</p>	<p>[改正の頁は省略]</p>

改 正		現 行		備 考																																																																																																																																																																																																																																																																				
<p>1章 基本事項</p> <p>1.1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>1.5 数量計算の単位および数値</p> <p>数量計算に用いる単位および数値は表-1~3とし、数値以下の数値は、有効数値1位（有効数値2位を四捨五入）を数値とするものとする。</p> <p>なお、表にないものは表-1に準ずるものとする。</p> <p>表-1 数量計算の単位および数値一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計算書名</th> <th>種 別</th> <th>単 位</th> <th>数 位</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">土 工 量</td> <td>距 離</td> <td>m</td> <td>小数位以下1位止</td> <td>2位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>m</td> <td>" 1 "</td> <td>2 "</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>m</td> <td>" 1 "</td> <td>2 "</td> </tr> <tr> <td>断面積</td> <td>m²</td> <td>" 1 "</td> <td>2 "</td> </tr> <tr> <td>平均断面積</td> <td>m²</td> <td>" 2 "</td> <td>3 "</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">法 面 積</td> <td>距 離</td> <td>m</td> <td>小数位以下1位止</td> <td>2位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>法 長</td> <td>m</td> <td>" 1 "</td> <td>2 "</td> </tr> <tr> <td>平均法長積</td> <td>m²</td> <td>" 2 "</td> <td>3 "</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリートブロック(石)積(張)面積</td> <td>距 離</td> <td>m</td> <td>小数位以下1位止</td> <td>2位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>法 長</td> <td>m</td> <td>" 1 "</td> <td>2 "</td> </tr> <tr> <td>平均法長積</td> <td>m²</td> <td>" 2 "</td> <td>3 "</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート・アスファルト体積</td> <td>幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下2位止</td> <td>3位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>m</td> <td>" 2 "</td> <td>3 "</td> </tr> <tr> <td>積</td> <td>m³</td> <td>" 2 "</td> <td>3 "</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">型 枠 面 積</td> <td>幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下2位止</td> <td>3位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>m</td> <td>" 2 "</td> <td>3 "</td> </tr> <tr> <td>積</td> <td>m²</td> <td>" 2 "</td> <td>3 "</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄 筋 質 量</td> <td>φ 単位質量</td> <td>kg/m</td> <td>整数 小数位以下3位止 有効数字3桁</td> <td>1本当り質量は小数2位止四捨五入</td> </tr> <tr> <td>質 量</td> <td>kg</td> <td>整 数 位 止</td> <td>1位四捨五入</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">足 場 ・ 支 保</td> <td>幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下1位止</td> <td>2位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>m</td> <td>" 1 "</td> <td>2 "</td> </tr> <tr> <td>距離</td> <td>m</td> <td>" 1 "</td> <td>2 "</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鋼 材 質 量</td> <td rowspan="3">幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下3位止</td> <td>4位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>m</td> <td>" 3 "</td> <td>4 "</td> </tr> <tr> <td>m</td> <td>" 3 "</td> <td>4 "</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ボ ル ト 質 量</td> <td rowspan="2">単位質量</td> <td>g/本</td> <td>整 数 位 止</td> <td>1位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>kg/本</td> <td>整 数 位 止</td> <td>1位四捨五入</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">塗 装 面 積</td> <td rowspan="3">幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下3位止</td> <td>4位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>m</td> <td>" 3 "</td> <td>4 "</td> </tr> <tr> <td>m²</td> <td>" 3 "</td> <td>4 "</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>		計算書名	種 別	単 位	数 位	摘 要	土 工 量	距 離	m	小数位以下1位止	2位四捨五入	高	m	" 1 "	2 "	幅	m	" 1 "	2 "	断面積	m ²	" 1 "	2 "	平均断面積	m ²	" 2 "	3 "	法 面 積	距 離	m	小数位以下1位止	2位四捨五入	法 長	m	" 1 "	2 "	平均法長積	m ²	" 2 "	3 "	コンクリートブロック(石)積(張)面積	距 離	m	小数位以下1位止	2位四捨五入	法 長	m	" 1 "	2 "	平均法長積	m ²	" 2 "	3 "	コンクリート・アスファルト体積	幅	m	小数位以下2位止	3位四捨五入	高	m	" 2 "	3 "	積	m ³	" 2 "	3 "	型 枠 面 積	幅	m	小数位以下2位止	3位四捨五入	高	m	" 2 "	3 "	積	m ²	" 2 "	3 "	鉄 筋 質 量	φ 単位質量	kg/m	整数 小数位以下3位止 有効数字3桁	1本当り質量は小数2位止四捨五入	質 量	kg	整 数 位 止	1位四捨五入	足 場 ・ 支 保	幅	m	小数位以下1位止	2位四捨五入	高	m	" 1 "	2 "	距離	m	" 1 "	2 "	鋼 材 質 量	幅	m	小数位以下3位止	4位四捨五入	m	" 3 "	4 "	m	" 3 "	4 "	ボ ル ト 質 量	単位質量	g/本	整 数 位 止	1位四捨五入	kg/本	整 数 位 止	1位四捨五入	塗 装 面 積	幅	m	小数位以下3位止	4位四捨五入	m	" 3 "	4 "	m ²	" 3 "	4 "	<p>1章 基本事項</p> <p>1.1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>1.5 数量計算の単位および数値</p> <p>数量計算に用いる単位および数値は表-1~3とし、数値以下の数値は、有効数値1位（有効数値2位を四捨五入）を数値とするものとする。</p> <p>なお、表にないものは表-1に準ずるものとする。</p> <p>表-1 数量計算の単位および数値一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計算書名</th> <th>種 別</th> <th>単 位</th> <th>数 位</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">土 工 量</td> <td>距 離</td> <td>m</td> <td>小数位以下1位止</td> <td>2位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>m</td> <td>" 1 "</td> <td>2 "</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>m</td> <td>" 1 "</td> <td>2 "</td> </tr> <tr> <td>断面積</td> <td>m²</td> <td>" 1 "</td> <td>2 "</td> </tr> <tr> <td>平均断面積</td> <td>m²</td> <td>" 2 "</td> <td>3 "</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">法 面 積</td> <td>距 離</td> <td>m</td> <td>小数位以下1位止</td> <td>2位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>法 長</td> <td>m</td> <td>" 1 "</td> <td>2 "</td> </tr> <tr> <td>平均法長積</td> <td>m²</td> <td>" 2 "</td> <td>3 "</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリートブロック(石)積(張)面積</td> <td>距 離</td> <td>m</td> <td>小数位以下1位止</td> <td>2位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>法 長</td> <td>m</td> <td>" 1 "</td> <td>2 "</td> </tr> <tr> <td>平均法長積</td> <td>m²</td> <td>" 2 "</td> <td>3 "</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート・アスファルト体積</td> <td>幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下2位止</td> <td>3位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>m</td> <td>" 2 "</td> <td>3 "</td> </tr> <tr> <td>積</td> <td>m³</td> <td>" 2 "</td> <td>3 "</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">型 枠 面 積</td> <td>幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下2位止</td> <td>3位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>m</td> <td>" 2 "</td> <td>3 "</td> </tr> <tr> <td>積</td> <td>m²</td> <td>" 2 "</td> <td>3 "</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄 筋 質 量</td> <td>φ 単位質量</td> <td>kg/m</td> <td>整数 小数位以下3位止 有効数字3桁</td> <td>1本当り質量は小数2位止四捨五入</td> </tr> <tr> <td>質 量</td> <td>kg</td> <td>小 数 位 以 下 1 位 止</td> <td>2位四捨五入</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">足 場 ・ 支 保</td> <td>幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下1位止</td> <td>2位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>m</td> <td>" 1 "</td> <td>2 "</td> </tr> <tr> <td>距離</td> <td>m</td> <td>" 1 "</td> <td>2 "</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鋼 材 質 量</td> <td rowspan="3">幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下3位止</td> <td>4位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>m</td> <td>" 3 "</td> <td>4 "</td> </tr> <tr> <td>m</td> <td>" 3 "</td> <td>4 "</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ボ ル ト 質 量</td> <td rowspan="2">単位質量</td> <td>g/本</td> <td>整 数 位 止</td> <td>1位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>kg/本</td> <td>整 数 位 止</td> <td>1位四捨五入</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">塗 装 面 積</td> <td rowspan="3">幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下3位止</td> <td>4位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>m</td> <td>" 3 "</td> <td>4 "</td> </tr> <tr> <td>m²</td> <td>" 3 "</td> <td>4 "</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>		計算書名	種 別	単 位	数 位	摘 要	土 工 量	距 離	m	小数位以下1位止	2位四捨五入	高	m	" 1 "	2 "	幅	m	" 1 "	2 "	断面積	m ²	" 1 "	2 "	平均断面積	m ²	" 2 "	3 "	法 面 積	距 離	m	小数位以下1位止	2位四捨五入	法 長	m	" 1 "	2 "	平均法長積	m ²	" 2 "	3 "	コンクリートブロック(石)積(張)面積	距 離	m	小数位以下1位止	2位四捨五入	法 長	m	" 1 "	2 "	平均法長積	m ²	" 2 "	3 "	コンクリート・アスファルト体積	幅	m	小数位以下2位止	3位四捨五入	高	m	" 2 "	3 "	積	m ³	" 2 "	3 "	型 枠 面 積	幅	m	小数位以下2位止	3位四捨五入	高	m	" 2 "	3 "	積	m ²	" 2 "	3 "	鉄 筋 質 量	φ 単位質量	kg/m	整数 小数位以下3位止 有効数字3桁	1本当り質量は小数2位止四捨五入	質 量	kg	小 数 位 以 下 1 位 止	2位四捨五入	足 場 ・ 支 保	幅	m	小数位以下1位止	2位四捨五入	高	m	" 1 "	2 "	距離	m	" 1 "	2 "	鋼 材 質 量	幅	m	小数位以下3位止	4位四捨五入	m	" 3 "	4 "	m	" 3 "	4 "	ボ ル ト 質 量	単位質量	g/本	整 数 位 止	1位四捨五入	kg/本	整 数 位 止	1位四捨五入	塗 装 面 積	幅	m	小数位以下3位止	4位四捨五入	m	" 3 "	4 "	m ²	" 3 "	4 "	<p>表内字句の改正</p> <p>表内字句の改正</p>
計算書名	種 別	単 位	数 位	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																				
土 工 量	距 離	m	小数位以下1位止	2位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
	高	m	" 1 "	2 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
	幅	m	" 1 "	2 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
	断面積	m ²	" 1 "	2 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
	平均断面積	m ²	" 2 "	3 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
法 面 積	距 離	m	小数位以下1位止	2位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
	法 長	m	" 1 "	2 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
	平均法長積	m ²	" 2 "	3 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
コンクリートブロック(石)積(張)面積	距 離	m	小数位以下1位止	2位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
	法 長	m	" 1 "	2 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
	平均法長積	m ²	" 2 "	3 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
コンクリート・アスファルト体積	幅	m	小数位以下2位止	3位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
	高	m	" 2 "	3 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
	積	m ³	" 2 "	3 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
型 枠 面 積	幅	m	小数位以下2位止	3位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
	高	m	" 2 "	3 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
	積	m ²	" 2 "	3 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
鉄 筋 質 量	φ 単位質量	kg/m	整数 小数位以下3位止 有効数字3桁	1本当り質量は小数2位止四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
	質 量	kg	整 数 位 止	1位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
足 場 ・ 支 保	幅	m	小数位以下1位止	2位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
	高	m	" 1 "	2 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
	距離	m	" 1 "	2 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
鋼 材 質 量	幅	m	小数位以下3位止	4位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
		m	" 3 "	4 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
		m	" 3 "	4 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
ボ ル ト 質 量	単位質量	g/本	整 数 位 止	1位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
		kg/本	整 数 位 止	1位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
塗 装 面 積	幅	m	小数位以下3位止	4位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
		m	" 3 "	4 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
		m ²	" 3 "	4 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
計算書名	種 別	単 位	数 位	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																				
土 工 量	距 離	m	小数位以下1位止	2位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
	高	m	" 1 "	2 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
	幅	m	" 1 "	2 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
	断面積	m ²	" 1 "	2 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
	平均断面積	m ²	" 2 "	3 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
法 面 積	距 離	m	小数位以下1位止	2位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
	法 長	m	" 1 "	2 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
	平均法長積	m ²	" 2 "	3 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
コンクリートブロック(石)積(張)面積	距 離	m	小数位以下1位止	2位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
	法 長	m	" 1 "	2 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
	平均法長積	m ²	" 2 "	3 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
コンクリート・アスファルト体積	幅	m	小数位以下2位止	3位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
	高	m	" 2 "	3 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
	積	m ³	" 2 "	3 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
型 枠 面 積	幅	m	小数位以下2位止	3位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
	高	m	" 2 "	3 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
	積	m ²	" 2 "	3 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
鉄 筋 質 量	φ 単位質量	kg/m	整数 小数位以下3位止 有効数字3桁	1本当り質量は小数2位止四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
	質 量	kg	小 数 位 以 下 1 位 止	2位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
足 場 ・ 支 保	幅	m	小数位以下1位止	2位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
	高	m	" 1 "	2 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
	距離	m	" 1 "	2 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
鋼 材 質 量	幅	m	小数位以下3位止	4位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
		m	" 3 "	4 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
		m	" 3 "	4 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
ボ ル ト 質 量	単位質量	g/本	整 数 位 止	1位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
		kg/本	整 数 位 止	1位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
塗 装 面 積	幅	m	小数位以下3位止	4位四捨五入																																																																																																																																																																																																																																																																				
		m	" 3 "	4 "																																																																																																																																																																																																																																																																				
		m ²	" 3 "	4 "																																																																																																																																																																																																																																																																				

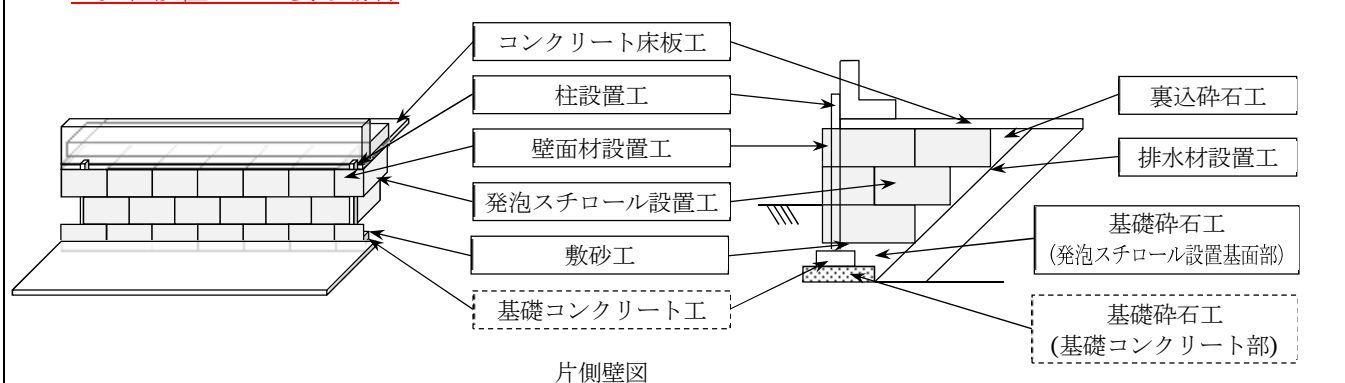
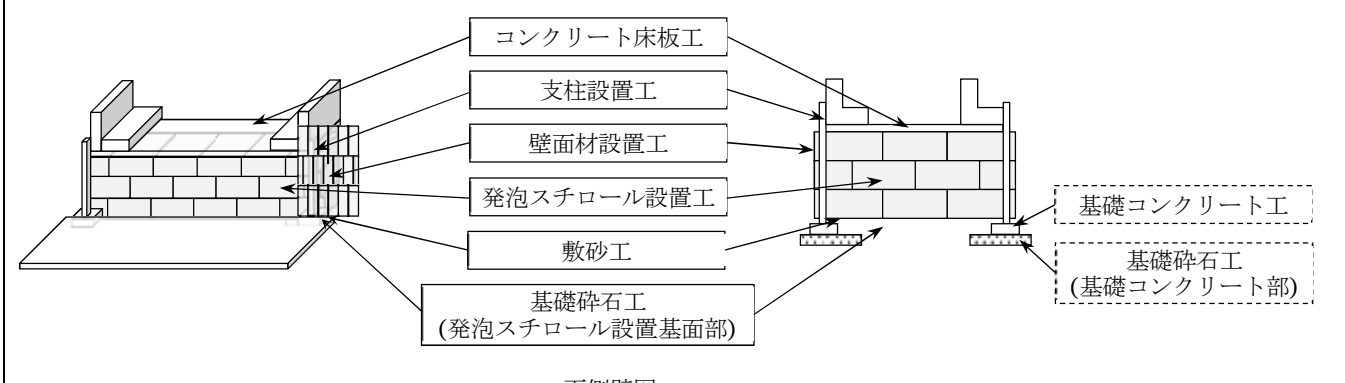
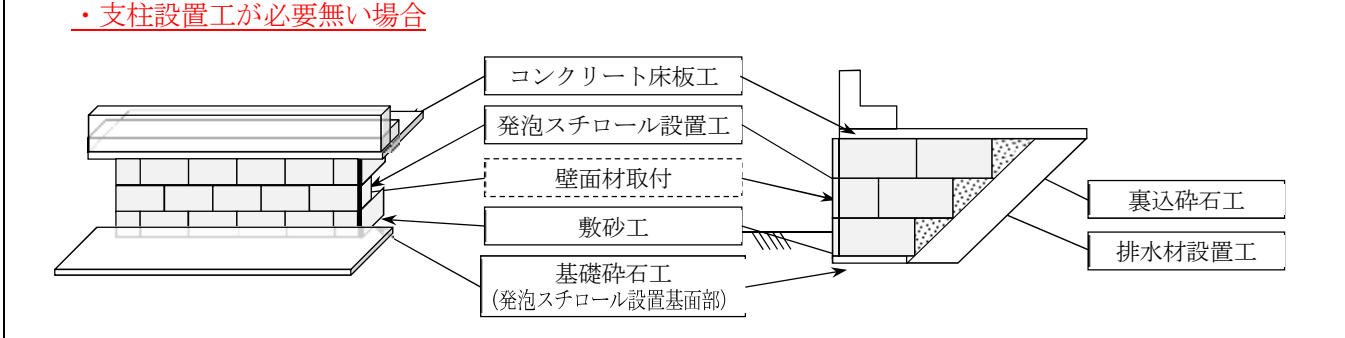
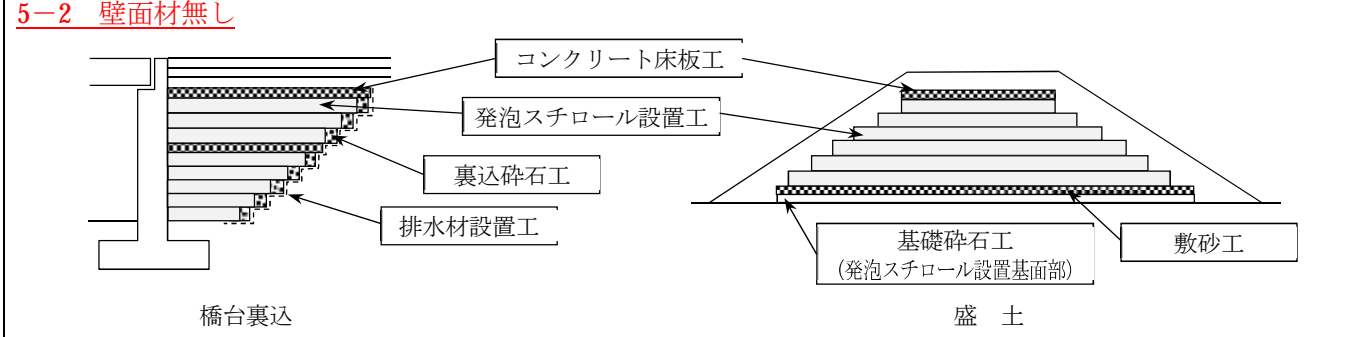
改 正	現 行	備 考														
<p>2章 土工</p> <p>2.1 伐開工 【省略】</p> <p>2.2 土工</p> <p>2.2.1 土工 【省略】</p> <p>2.2.2 土工（道路工）</p> <p>1 適用 道路工事における土工に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 掘削、盛土、法面整形、不陸整形、作業残土処理の数量を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、断面積、面積、作業項目、土質、施工幅、運搬距離とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表 【省略】</p> <p>(5) 施工幅区分 施工幅区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="231 1123 661 1260"> <tr> <td>施工幅 (W)</td> <td>2.5m未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2.5m以上 4.0m未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4.0m以上</td> </tr> </table>  <p>注) 1. 各々の上限値・下限値を超える盛土が一部で点在する場合は、原則として該当する施工幅の多いほうを選定する。 2. 横断面だけで区分しないで、縦断区間を考慮して区分する。 3. 施工幅 (W) については平均施工幅とする。 4. 盛土は路体と路床を区分し算出する。</p> <p>路床盛土 $W = (W1+W2) / 2$ 路体盛土 $W = (W2+W3) / 2$</p> <p>【省略】</p>	施工幅 (W)	2.5m未満		2.5m以上 4.0m未満		4.0m以上	<p>2章 土工</p> <p>2.1 伐開工 【省略】</p> <p>2.2 土工</p> <p>2.2.1 土工 【省略】</p> <p>2.2.2 土工（道路工）</p> <p>1 適用 道路工事における土工に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 掘削、盛土、法面整形、不陸整形、作業残土処理の数量を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、断面積、面積、作業項目、土質、施工幅、運搬距離とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表 【省略】</p> <p>(5) 施工幅区分 施工幅区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1484 1123 1914 1260"> <tr> <td>施工幅 (W)</td> <td>1.0m未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.0m以上 2.5m未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2.5m以上 4.0m未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4.0m以上</td> </tr> </table>  <p>注) 1. 各々の上限値・下限値を超える盛土が一部で点在する場合は、原則として該当する施工幅の多いほうを選定する。 2. 横断面だけで区分しないで、縦断区間を考慮して区分する。 3. 施工幅 (W) については平均施工幅とする。 4. 盛土は路体と路床を区分し算出する。</p> <p>路床盛土 $W = (W1+W2) / 2$ 路体盛土 $W = (W2+W3) / 2$</p> <p>【省略】</p>	施工幅 (W)	1.0m未満		1.0m以上 2.5m未満		2.5m以上 4.0m未満		4.0m以上	<p>表内字句の削除</p>
施工幅 (W)	2.5m未満															
	2.5m以上 4.0m未満															
	4.0m以上															
施工幅 (W)	1.0m未満															
	1.0m以上 2.5m未満															
	2.5m以上 4.0m未満															
	4.0m以上															

改 正	現 行	備 考																																																																																																																																																																																
<p>2.4 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工</p> <p>2.4.1 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工</p> <p>1 適 用 超軽量材としての発泡スチロールを盛土、擁壁および橋台等の抗土圧構造物の裏込め等に使用する発泡スチロール工を人力で施工する場合に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 発泡スチロール設置、発泡スチロール（材料費）、緊結金具（材料費）、コンクリート床版、支柱結合アンカー（材料費）、支柱設置、支柱（材料費）、壁面材設置、壁面材（材料費）、裏込砕石（軽量盛土）の数量を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区 分 区分は、規格、雑工種、生コンクリート規格、養生工、圧送管延長距離、床版厚さ、溶接金網規格、鉄筋量、盛土高、附帯工の割合、砕石の種類とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>規格</th> <th>雑工種</th> <th>生コンクリート規格</th> <th>養生工</th> <th>圧送管延長距離</th> <th>床版厚さ</th> <th>溶接金網規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>盛土高</th> <th>附帯工の割合</th> <th>砕石の種類</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発泡スチロール設置</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発泡スチロール（材料費）</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊結金具（材料費）</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート床版</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>支柱結合アンカー（材料費）</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>支柱設置</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>支柱（材料費）</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁面材設置</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁面材（材料費）</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>裏込砕石（軽量盛土）</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 軽量盛土（発泡スチロール）の排水材（不織布：厚さ10mm以下）、基礎砕石（敷均し厚20cm以下）、敷砂（敷均し厚10cm以下）を標準としており、これにより難しい場合については別途考慮する。 2. 雑工種における材料は、種別・規格にかかわらず適用できる。 3. 発泡スチロールブロックの固定のためにL型ピンの設置が必要な場合は別途考慮する。 4. コンクリート床版にグラウンドアンカー等を結合する場合は別途考慮する。 5. ベースプレート式H型鋼支柱（H型鋼規格はH300mm×300mm以下、長さ9m以下）を標準としており、これにより難しい場合については別途考慮する。 6. 壁面材1枚当りの規格は、長さ2.5m以下、幅0.6m以下、重量170kg以下を標準としており、これにより難しい場合については別途考慮する。</p>		項目	区分	規格	雑工種	生コンクリート規格	養生工	圧送管延長距離	床版厚さ	溶接金網規格	鉄筋量	盛土高	附帯工の割合	砕石の種類	単位	数量	備考	発泡スチロール設置	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	m ³			発泡スチロール（材料費）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	m ³			緊結金具（材料費）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	個			コンクリート床版	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	m ³			支柱結合アンカー（材料費）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	m ³			支柱設置	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	本			支柱（材料費）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	本			壁面材設置	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	m ²			壁面材（材料費）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	m ²			裏込砕石（軽量盛土）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	m ³			項目の追加
項目	区分	規格	雑工種	生コンクリート規格	養生工	圧送管延長距離	床版厚さ	溶接金網規格	鉄筋量	盛土高	附帯工の割合	砕石の種類	単位	数量	備考																																																																																																																																																																			
発泡スチロール設置	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	m ³																																																																																																																																																																					
発泡スチロール（材料費）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	m ³																																																																																																																																																																					
緊結金具（材料費）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	個																																																																																																																																																																					
コンクリート床版	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	m ³																																																																																																																																																																					
支柱結合アンカー（材料費）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	m ³																																																																																																																																																																					
支柱設置	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	本																																																																																																																																																																					
支柱（材料費）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	本																																																																																																																																																																					
壁面材設置	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	m ²																																																																																																																																																																					
壁面材（材料費）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	m ²																																																																																																																																																																					
裏込砕石（軽量盛土）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	m ³																																																																																																																																																																					

新 旧 対 照 表

改 正		現 行	備 考										
<p>(2) 発泡スチロール設置の雑工種による区分は、以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr><td rowspan="8">雑工種</td><td>排水材+基礎碎石+敷砂</td></tr> <tr><td>排水材+基礎碎石</td></tr> <tr><td>排水材+敷砂</td></tr> <tr><td>基礎碎石+敷砂</td></tr> <tr><td>排水材</td></tr> <tr><td>基礎碎石</td></tr> <tr><td>敷砂</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> </table>		雑工種	排水材+基礎碎石+敷砂	排水材+基礎碎石	排水材+敷砂	基礎碎石+敷砂	排水材	基礎碎石	敷砂	無し		項目の追加	
雑工種	排水材+基礎碎石+敷砂												
	排水材+基礎碎石												
	排水材+敷砂												
	基礎碎石+敷砂												
	排水材												
	基礎碎石												
	敷砂												
	無し												
<p>(3) コンクリート床版の養生工による区分は、以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr><td rowspan="2">養生工</td><td>一般養生</td></tr> <tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒーター)</td></tr> </table>		養生工	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒーター)									
養生工	一般養生												
	特殊養生 (練炭・ジェットヒーター)												
<p>(4) コンクリート床版の生コンクリート規格による区分は、以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr><td rowspan="4">圧送管延長距離</td><td>延長無し</td></tr> <tr><td>50m 未満</td></tr> <tr><td>50m 以上 100m 未満</td></tr> <tr><td>100m 以上 150m 以下</td></tr> </table> <p>注) 圧送管延長距離区分は、作業範囲 (30m) を超えて圧送管を延長する場合に、超えた部分の延長距離を該当する区分から選択する。</p>		圧送管延長距離	延長無し	50m 未満	50m 以上 100m 未満	100m 以上 150m 以下							
圧送管延長距離	延長無し												
	50m 未満												
	50m 以上 100m 未満												
	100m 以上 150m 以下												
<p>(5) コンクリート床版の床版厚さによる区分は、以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr><td rowspan="2">床版厚さ</td><td>10 cm</td></tr> <tr><td>15 cm</td></tr> </table>		床版厚さ	10 cm	15 cm									
床版厚さ	10 cm												
	15 cm												
<p>(6) 裏込碎石 (軽量盛土) の盛土高による区分は、以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr><td rowspan="2">盛土高</td><td>6 cm 以下</td></tr> <tr><td>6 cm 超え (附帯工有り)</td></tr> </table>		盛土高	6 cm 以下	6 cm 超え (附帯工有り)									
盛土高	6 cm 以下												
	6 cm 超え (附帯工有り)												
<p>(7) 裏込碎石 (軽量盛土) の附帯工の割合による区分は、以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr><td rowspan="10">附帯工の割合</td><td>0.1 以下</td></tr> <tr><td>0.1 を超え 0.2 以下</td></tr> <tr><td>0.2 を超え 0.3 以下</td></tr> <tr><td>0.3 を超え 0.4 以下</td></tr> <tr><td>0.4 を超え 0.5 以下</td></tr> <tr><td>0.5 を超え 0.6 以下</td></tr> <tr><td>0.6 を超え 0.7 以下</td></tr> <tr><td>0.7 を超え 0.8 以下</td></tr> <tr><td>0.8 を超え 0.9 以下</td></tr> <tr><td>0.9 を超え 1.0 以下</td></tr> </table>		附帯工の割合	0.1 以下	0.1 を超え 0.2 以下	0.2 を超え 0.3 以下	0.3 を超え 0.4 以下	0.4 を超え 0.5 以下	0.5 を超え 0.6 以下	0.6 を超え 0.7 以下	0.7 を超え 0.8 以下	0.8 を超え 0.9 以下	0.9 を超え 1.0 以下	
附帯工の割合	0.1 以下												
	0.1 を超え 0.2 以下												
	0.2 を超え 0.3 以下												
	0.3 を超え 0.4 以下												
	0.4 を超え 0.5 以下												
	0.5 を超え 0.6 以下												
	0.6 を超え 0.7 以下												
	0.7 を超え 0.8 以下												
	0.8 を超え 0.9 以下												
	0.9 を超え 1.0 以下												

改 正	現 行	備 考																												
<p><u>関連数量算出項目</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">数量</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート (基礎コンクリート部)</td> <td style="text-align: center;">m³</td> <td></td> <td>「3章 コンクリート工 3.1 コンクリート工」 参照</td> </tr> <tr> <td>型枠 (基礎コンクリート部)</td> <td style="text-align: center;">m²</td> <td></td> <td>「3章 コンクリート工 3.2 型枠工」 参照</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工 (基礎コンクリート部)</td> <td style="text-align: center;">t</td> <td></td> <td>「3章 コンクリート工 3.3.1 鉄筋工」 参照</td> </tr> <tr> <td>基礎材 (基礎コンクリート部)</td> <td style="text-align: center;">m²</td> <td></td> <td>「7章 基礎工 7.1 基礎・裏込砕石工」 参照</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 数量算出方法 数量算出は、「1章 基本事項」によるほか、下記の方法によるものとする。</p> <p>(1) 発泡スチロール（材料費）は、ロス率を以下とし体積（m³）を算出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">ロ ス 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発泡スチロール</td> <td style="text-align: center;">+ 0.04</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 緊結金具（材料費）の発泡スチロールm³当りの使用量は、ロス率を含み以下とし個数を算出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊結金具</td> <td style="text-align: center;">2.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 支柱結合アンカー（材料費）は、規格ごとにコンクリート床版体積当りの必要本数（本/m³）を算出する。</p> <p>(4) 支柱（材料費）は、規格ごとに本数を算出する。</p> <p>(5) 壁面材（材料費）は、壁面固定金具を含み、規格ごとに壁面面積当りの必要数量（枚/m²及び個/m²）を算出する。</p> <p>(6) 裏込砕石（軽量盛土）は、設計数量を算出する。</p> <p>(7) 附帯工の割合は下式にて算出する。</p> $\text{附帯工の割合} = \frac{\text{裏込め砕石工の盛土高6mを超える部分の設計量 (m}^3\text{)}}{\text{裏込砕石工全体の設計量 (m}^3\text{)}} \times 100$ <p style="text-align: right;">設計量 (m³) : ロスを含まない数量</p>	項目	単位	数量	備考	コンクリート (基礎コンクリート部)	m ³		「3章 コンクリート工 3.1 コンクリート工」 参照	型枠 (基礎コンクリート部)	m ²		「3章 コンクリート工 3.2 型枠工」 参照	鉄筋工 (基礎コンクリート部)	t		「3章 コンクリート工 3.3.1 鉄筋工」 参照	基礎材 (基礎コンクリート部)	m ²		「7章 基礎工 7.1 基礎・裏込砕石工」 参照	項 目	ロ ス 率	発泡スチロール	+ 0.04	項 目	数 量	緊結金具	2.3		項目の追加
項目	単位	数量	備考																											
コンクリート (基礎コンクリート部)	m ³		「3章 コンクリート工 3.1 コンクリート工」 参照																											
型枠 (基礎コンクリート部)	m ²		「3章 コンクリート工 3.2 型枠工」 参照																											
鉄筋工 (基礎コンクリート部)	t		「3章 コンクリート工 3.3.1 鉄筋工」 参照																											
基礎材 (基礎コンクリート部)	m ²		「7章 基礎工 7.1 基礎・裏込砕石工」 参照																											
項 目	ロ ス 率																													
発泡スチロール	+ 0.04																													
項 目	数 量																													
緊結金具	2.3																													

改 正	現 行	備 考
<p>5 参考図</p> <p>5-1 壁面材有り</p> <p>・支柱設置工が必要な場合</p>  <p>片側壁図</p>  <p>両側壁図</p> <p>・支柱設置工が必要無い場合</p>  <p>壁面材一体型</p> <p>5-2 壁面材無し</p>  <p>橋台裏込</p> <p>盛土</p>		<p>項目の追加</p>

改 正	現 行	備 考																																																																														
<p>3章 コンクリート工</p> <p>3.1 コンクリート工 【省略】</p> <p>3.3 鉄筋工</p> <p>3.3.1 鉄筋工 【省略】</p> <p>3 区 分 【省略】</p> <p>(3) 材料規格区分および鉄筋径区分</p> <table border="1" data-bbox="112 825 1050 1331"> <thead> <tr> <th>材料規格</th> <th>鉄筋径</th> <th>材料規格</th> <th>鉄筋径</th> <th>材料規格</th> <th>鉄筋径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">SD295A</td> <td>D10</td> <td rowspan="12">SD345</td> <td>D10</td> <td rowspan="12">SR235</td> <td>φ 9</td> </tr> <tr> <td>D13</td> <td>D13</td> <td>φ 13</td> </tr> <tr> <td>D16</td> <td>D16</td> <td>φ 16</td> </tr> <tr> <td></td> <td>D19</td> <td>φ 25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>D22</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>D25</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>D29</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>D32</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>D35</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>D38</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>D41</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>D51</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 上表は、刊行物等により市場性を反映している。 2. 材料規格の使い分けについては、各設計指針等によることとする。 【省略】</p>	材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径	SD295A	D10	SD345	D10	SR235	φ 9	D13	D13	φ 13	D16	D16	φ 16		D19	φ 25		D22			D25			D29			D32			D35			D38			D41			D51		<p>3章 コンクリート工</p> <p>3.1 コンクリート工 【省略】</p> <p>3.3 鉄筋工</p> <p>3.3.1 鉄筋工 【省略】</p> <p>3 区 分 【省略】</p> <p>(3) 材料規格区分および鉄筋径区分</p> <table border="1" data-bbox="1436 825 2445 1199"> <thead> <tr> <th>材料規格</th> <th>鉄筋径</th> <th>材料規格</th> <th>鉄筋径</th> <th>材料規格</th> <th>鉄筋径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">SD295A</td> <td>D10</td> <td rowspan="10">SD345</td> <td>D10</td> <td rowspan="10">SR235</td> <td>φ 9</td> </tr> <tr> <td>D13</td> <td>D13</td> <td>φ 13</td> </tr> <tr> <td>D16</td> <td>D16~D25</td> <td>φ 16~φ 25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>D29~D32</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>D35</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>D38</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>D41</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>D51</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 上表は、刊行物等により市場性を反映している。 2. 材料規格の使い分けについては、各設計指針等によることとする。 【省略】</p>	材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径	SD295A	D10	SD345	D10	SR235	φ 9	D13	D13	φ 13	D16	D16~D25	φ 16~φ 25		D29~D32			D35			D38			D41			D51		<p>表内、字句の改正</p>
材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径																																																																											
SD295A	D10	SD345	D10	SR235	φ 9																																																																											
	D13		D13		φ 13																																																																											
	D16		D16		φ 16																																																																											
			D19		φ 25																																																																											
			D22																																																																													
			D25																																																																													
			D29																																																																													
			D32																																																																													
			D35																																																																													
			D38																																																																													
			D41																																																																													
			D51																																																																													
材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径																																																																											
SD295A	D10	SD345	D10	SR235	φ 9																																																																											
	D13		D13		φ 13																																																																											
	D16		D16~D25		φ 16~φ 25																																																																											
			D29~D32																																																																													
			D35																																																																													
			D38																																																																													
			D41																																																																													
			D51																																																																													

改 正	現 行	備 考																																																																								
<p>5章 擁壁工</p> <p>5.1 プレキャスト擁壁工</p> <p>【省略】</p> <p>5.3 ジオテキスタイル工</p> <p>1 適 用 ジオテキスタイル（ジオグリット、ジオネット、織布、不織布）を用いた補強土壁工及び盛土補強工に適用する。 ただし、軟弱地盤における敷設材工法及び盛土の補強工法は適用範囲外とする。</p> <p>2 数量算出項目 ジオテキスタイル壁面材組立・設置、ジオテキスタイル壁面材（材料費）、ジオテキスタイル敷設、まき出し・敷均し・締固め、ジオテキスタイル（材料費）の数量を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区 分 区分は、規格とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>規格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジオテキスタイル壁面材組立・設置</td> <td></td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル壁面材（材料費）</td> <td></td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル敷設</td> <td></td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>まき出し・敷均し・締固め</td> <td></td> <td>○</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル（材料費）</td> <td></td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 壁面材の種類は下表を標準としており、これにより難しい場合については別途考慮する。</p> <p>【省略】</p>	項目	区分	規格	単 位	数 量	備 考	ジオテキスタイル壁面材組立・設置		○	m ²			ジオテキスタイル壁面材（材料費）		○	m ²			ジオテキスタイル敷設		○	m ²			まき出し・敷均し・締固め		○	m ³			ジオテキスタイル（材料費）		○	m ²			<p>5章 擁壁工</p> <p>5.1 プレキャスト擁壁工</p> <p>【省略】</p> <p>5.3 ジオテキスタイル工</p> <p>1 適 用 ジオテキスタイル（ジオグリット、ジオネット、織布、不織布）を用いた補強土壁工及び盛土補強工に適用する。 ただし、軟弱地盤における敷設材工法及び盛土の補強工法は適用範囲外とする。</p> <p>2 数量算出項目 ジオテキスタイル壁面材組立・設置、ジオテキスタイル壁面材（材料費）、ジオテキスタイル敷設、まき出し・敷均し・締固め、ジオテキスタイル（材料費）の数量を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区 分 区分は、規格とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>規格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジオテキスタイル壁面材組立・設置</td> <td></td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル壁面材（材料費）</td> <td></td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル敷設</td> <td></td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>まき出し・敷均し・締固め</td> <td></td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル（材料費）</td> <td></td> <td>○</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 壁面材の種類は下表を標準としており、これにより難しい場合については別途考慮する。</p> <p>【省略】</p>	項目	区分	規格	単 位	数 量	備 考	ジオテキスタイル壁面材組立・設置		○	m ²			ジオテキスタイル壁面材（材料費）		○	m ²			ジオテキスタイル敷設		○	m ²			まき出し・敷均し・締固め		○	m ²			ジオテキスタイル（材料費）		○	m ²			<p>表内字句の改正</p>
項目	区分	規格	単 位	数 量	備 考																																																																					
ジオテキスタイル壁面材組立・設置		○	m ²																																																																							
ジオテキスタイル壁面材（材料費）		○	m ²																																																																							
ジオテキスタイル敷設		○	m ²																																																																							
まき出し・敷均し・締固め		○	m ³																																																																							
ジオテキスタイル（材料費）		○	m ²																																																																							
項目	区分	規格	単 位	数 量	備 考																																																																					
ジオテキスタイル壁面材組立・設置		○	m ²																																																																							
ジオテキスタイル壁面材（材料費）		○	m ²																																																																							
ジオテキスタイル敷設		○	m ²																																																																							
まき出し・敷均し・締固め		○	m ²																																																																							
ジオテキスタイル（材料費）		○	m ²																																																																							

改 正	現 行	備 考																								
<p>7章 基礎工</p> <p>7.1 基礎・裏込砕石工 【省略】</p> <p>7.5 場所打杭工 【省略】</p> <p>4 数量算出方法 数量の算出は、「1章 基本事項」によるほか次の方法によるものとする。 <u>(1) 全回転式オールケーシング工</u> <u>下記の項目についても算出する。</u></p> <p>1) <u>土質別の掘削長</u> <u>杭打込長の最小単位は、0.1mを標準とする。</u> <u>土質による区分は、以下の通りとする。</u></p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td rowspan="4" style="text-align: center;">土質</td><td style="text-align: center;">レキ質土、粘性土、砂及び砂質土</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">岩塊・玉石、軟岩Ⅰ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">軟岩Ⅱ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">硬岩Ⅰ・中硬岩</td></tr> </table> <p>2) コンクリート量 $Q = \pi / 4 \times D^2 \times L$ Q：杭1本当りのコンクリート使用量… (m³/本) D：設計杭径… (m) L：設計杭長… (m)</p> <p>3) 杭頭処理取壊コンクリート量 $Q = \pi / 4 \times D^2 \times L$ Q：杭頭処理取壊コンクリート量… (m³/本) D：設計杭径… (m) L：設計杭頭処理長… (m)</p> <p>【省略】</p>	土質	レキ質土、粘性土、砂及び砂質土	岩塊・玉石、軟岩Ⅰ	軟岩Ⅱ	硬岩Ⅰ・中硬岩	<p>7章 基礎工</p> <p>7.1 基礎・裏込砕石工 【省略】</p> <p>7.5 場所打杭工 【省略】</p> <p>4 数量算出方法 数量の算出は、「1章 基本事項」によるほか次の方法によるものとする。 <u>(1) オールケーシング工・全回転式オールケーシング工</u> <u>次の項目についても算出する。</u></p> <p>1) <u>土質別の掘削長及び土質係数</u> <u>杭打込長の最小単位は、0.1mを標準とする。</u> <u>土質による区分は、次の通りとする。</u></p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td rowspan="3" style="text-align: center;">土質</td><td style="text-align: center;">レキ質土、粘性土、砂及び砂質土</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">岩塊・玉石、軟岩</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">硬岩・中硬岩</td></tr> </table> <p><u>土質係数は掘削する土質毎の係数を加重平均して算出する。なお土質係数は、小数第2位を四捨五入し小数第1位とする。</u></p> $\alpha = \frac{(\alpha 1 \times L 1) + (\alpha 2 \times L 2) + \dots}{L 1 + L 2 + \dots}$ <p style="text-align: center;">αn：各土質の土質係数（次表） Ln：各土質の掘削長（m）</p> <p style="text-align: center;">掘削区分別土質係数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">掘削機</th> <th style="text-align: center;">揺動式オールケーシング掘削機</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">全回転式オールケーシング掘削機</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">土質</th> <th style="text-align: center;">レキ質土 粘性土 砂及び砂質土</th> <th style="text-align: center;">レキ質土 粘性土 砂及び砂質土</th> <th style="text-align: center;">岩塊・玉石 軟岩</th> <th style="text-align: center;">硬岩 中硬岩</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">土質係数</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> <td style="text-align: center;">1.80</td> <td style="text-align: center;">2.80</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) コンクリート量 $Q = \pi / 4 \times D^2 \times L$ Q：杭1本当りのコンクリート使用量… (m³/本) D：設計杭径… (m) L：設計杭長… (m)</p> <p>3) 杭頭処理取壊コンクリート量 $Q = \pi / 4 \times D^2 \times L$ Q：杭頭処理取壊コンクリート量… (m³/本) D：設計杭径… (m) L：設計杭頭処理長… (m)</p> <p>【省略】</p>	土質	レキ質土、粘性土、砂及び砂質土	岩塊・玉石、軟岩	硬岩・中硬岩	掘削機	揺動式オールケーシング掘削機	全回転式オールケーシング掘削機			土質	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	岩塊・玉石 軟岩	硬岩 中硬岩	土質係数	1.00	1.00	1.80	2.80	<p>字句の改正</p> <p>表の改正</p> <p>字句及び表の削除</p>
土質		レキ質土、粘性土、砂及び砂質土																								
		岩塊・玉石、軟岩Ⅰ																								
		軟岩Ⅱ																								
	硬岩Ⅰ・中硬岩																									
土質	レキ質土、粘性土、砂及び砂質土																									
	岩塊・玉石、軟岩																									
	硬岩・中硬岩																									
掘削機	揺動式オールケーシング掘削機	全回転式オールケーシング掘削機																								
	土質	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	岩塊・玉石 軟岩	硬岩 中硬岩																					
土質係数	1.00	1.00	1.80	2.80																						

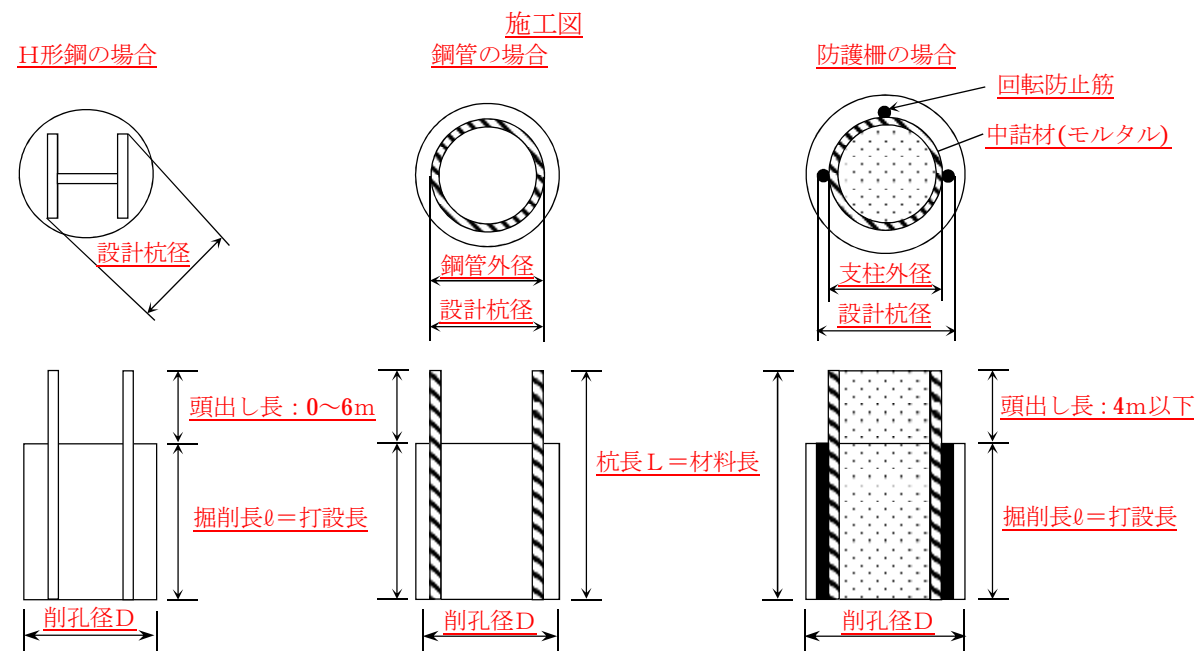
改 正

現 行

備 考

(4) ダウンザホールハンマ工
下記項目についても算出する。

1) H形鋼を使用する場合は、H形鋼の対角線長とし、鋼管（防護柵を含む）を使用する場合は設計杭径は鋼管の外径とし、数量を算出する。なお、設計杭径については小数第1位以下を四捨五入して算出する。



2) 土質区別掘削長（1本当たり）
杭打設長の最小単位は、0.1mを標準とする。

区分	杭種別					
	モルタル杭 (H形鋼)	モルタル杭 (鋼管)	コンクリート杭 (鋼管)	H形鋼杭 (土砂埋戻し)	鋼管杭 (土砂埋戻し)	防護柵 (モルタル杭)
掘削長 (m)	○	○	○	○	○	○

区分	土質区分			
	砂質土	粘性土	レキ質土 岩塊・玉石 軟岩 中軟岩	硬岩
掘削長 (m)	○	○	○	○

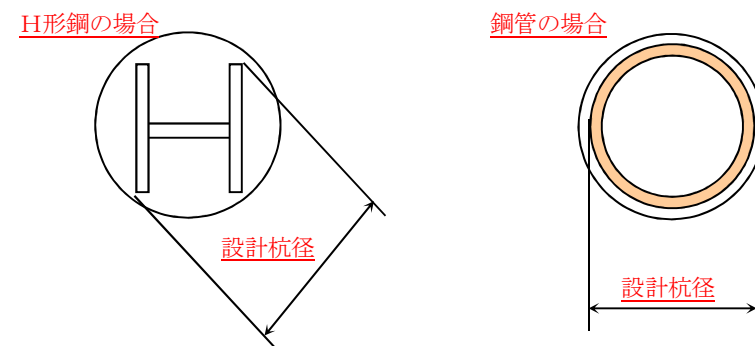
3) モルタル杭使用における杭1本当たりモルタル使用量は以下のとおりとする。

$$Q = \pi / 4 \times D_1^2 \times L$$

Q : モルタル使用量 (m³/本)
 D_1 : 削孔径 (m)
 L : 打設長 (m)

(4) ダウンザホールハンマ工
下記項目についても算出する。

1) H形鋼を使用する場合は、H形鋼の対角線長とし、鋼管を使用する場合は設計杭径は鋼管の外径とし、数量を算出する。



※杭長=材料長、掘削長=打設長

2) 土質区別掘削長（1本当たり）
杭打設長の最小単位は、0.1mを標準とする。

区分	杭種別			土質区分						
	モルタル杭 (H鋼)	モルタル杭 (鋼管)	コンクリート杭 (鋼管)	砂質土	レキ質土	粘性土	岩塊玉石	軟岩	中硬岩	硬岩
掘削長 (m)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

土質係数は掘削する土質毎の係数を加重平均して算出する。
 なお土質係数は、小数第3位を四捨五入して小数第2位とする。

$$\alpha = \frac{(\alpha_1 \times L_1) + (\alpha_2 \times L_2) + \dots}{L_1 + L_2 + \dots}$$

α_n : 各土質の土質係数 (次表)
 L_n : 各土質の掘削長 (m)

土質区分	砂質土	レキ質土	粘性土	岩塊玉石	軟岩	中硬岩	硬岩
土質係数	0.68	0.97	0.95	1.02	1.00	1.05	1.27

3) モルタル杭使用における杭1本当たりモルタル使用量は次の通りとする。

a) H形鋼又は鋼管を使用する場合

$$Q = \pi / 4 \times D^2 \times L$$

Q : モルタル使用量 (m³/本)
 D : 設計杭径 (m)
 L : 打設長 (m)

字句の改正
図の改正

表の改正

字句の削除

表の改正

字句の改正

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>4) コンクリート杭使用におけるモルタル、コンクリート（生コン）杭 1 本当り使用量は以下のとおりとする。</p> <p>$Q1 = \pi / 4 \times (D_1^2 - D_2^2) \times L$ $Q2 = \pi / 4 \times D_2^2 \times L$ Q1：モルタル使用量 (m³/本) Q2：中詰めコンクリート使用量 (m³/本) D₁：削孔径 (m) D₂：設計杭径 (m) L：打設長 (m)</p> <p>5) <u>土砂埋戻しにおける購入土（砂）杭 1 本当り使用量は以下のとおりとする。</u></p> <p><u>$Q = \pi / 4 \times D_1^2 \times L$</u> <u>Q：購入土（砂）使用量 (m³/本)</u> <u>D₁：削孔径 (m)</u> <u>L：打設長 (m)</u></p> <p>6) H形鋼等 H形鋼・鋼管材料長 (m) を算出する。 【省略】</p>	<p>4) コンクリート杭使用におけるモルタル、コンクリート（生コン）杭 1 本当り使用量は次のとおりとする。</p> <p>$Q1 = \pi / 4 \times (D1^2 - D^2) \times L$ $Q2 = \pi / 4 \times D^2 \times L$ Q1：モルタル使用量..... (m³/本) Q2：中詰めコンクリート使用量..... (m³/本) D：設計杭径..... (m) D1：削孔径..... (m) L：打設長..... (m)</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <p>5) H形鋼等 H形鋼・鋼管材料長 (m) を算出する。 【省略】</p>	<p>点線の削除</p> <p>項目の追加</p> <p>番号の改正</p>

改 正	現 行	備 考																																																																																							
<p>8章 構造物取壊し工</p> <p>8.1 構造物取壊し工</p> <p>【省略】</p> <p>8.3 コンクリート削孔工</p> <p>1 適用 コンクリート構造物の削孔（用心鉄筋（さし筋）、あと施工アンカー、防護柵類、排水穴等）作業に適用する。 削孔機械における適用削孔径及び削孔深</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>削孔機械</th> <th>削孔径</th> <th>削孔深</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電動ハンマドリル</td> <td>10 mm以上 30 mm未満</td> <td>30 mm以上 400 mm未満</td> </tr> <tr> <td>さく岩機（ハンドドリル）</td> <td>30 mm以上 60 mm未満</td> <td>100 mm以上 1, 100 mm未満</td> </tr> <tr> <td>コンクリート穿孔機</td> <td>60 mm以上 100 mm未満</td> <td>50 mm以上 1, 100 mm未満</td> </tr> <tr> <td>（電動式コアボーリングマシン）</td> <td>100 mm以上 200 mm未満</td> <td>50 mm以上 400 mm未満</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 数量算出項目 コンクリート削孔（電動ハンマドリル 40 mm）、コンクリート削孔（さく岩機）、コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）の数量を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、削孔深さ、削孔径とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">属性情報</th> </tr> <tr> <th>削孔径</th> <th>削孔深さ</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート削孔工 （電動ハンマドリル 40 mm）</td> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td>孔</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート削孔 （さく岩機）</td> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td>孔</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート削孔 （コンクリート穿孔機）</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>孔</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 削孔径による区分は、以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> <th>参考（使用ビット径）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9">削孔径</td> <td>60 mm以上 64 mm未満</td> <td>64.7 mm</td> </tr> <tr> <td>64 mm以上 77 mm未満</td> <td>77.4 mm</td> </tr> <tr> <td>77 mm以上 90 mm未満</td> <td>90.8 mm</td> </tr> <tr> <td>90 mm以上 100 mm未満</td> <td>110.0 mm</td> </tr> <tr> <td>100 mm以上 110 mm未満</td> <td>110.0 mm</td> </tr> <tr> <td>110 mm以上 128 mm未満</td> <td>128.5 mm</td> </tr> <tr> <td>128 mm以上 160 mm未満</td> <td>160.0 mm</td> </tr> <tr> <td>160 mm以上 180 mm未満</td> <td>180.0 mm</td> </tr> <tr> <td>180 mm以上 200 mm未満</td> <td>204.0 mm</td> </tr> </tbody> </table>	削孔機械	削孔径	削孔深	電動ハンマドリル	10 mm以上 30 mm未満	30 mm以上 400 mm未満	さく岩機（ハンドドリル）	30 mm以上 60 mm未満	100 mm以上 1, 100 mm未満	コンクリート穿孔機	60 mm以上 100 mm未満	50 mm以上 1, 100 mm未満	（電動式コアボーリングマシン）	100 mm以上 200 mm未満	50 mm以上 400 mm未満	項目	区分	属性情報				削孔径	削孔深さ	単位	数量	コンクリート削孔工 （電動ハンマドリル 40 mm）		×	○	孔		コンクリート削孔 （さく岩機）		×	○	孔		コンクリート削孔 （コンクリート穿孔機）		○	○	孔		積算条件	区分	参考（使用ビット径）	削孔径	60 mm以上 64 mm未満	64.7 mm	64 mm以上 77 mm未満	77.4 mm	77 mm以上 90 mm未満	90.8 mm	90 mm以上 100 mm未満	110.0 mm	100 mm以上 110 mm未満	110.0 mm	110 mm以上 128 mm未満	128.5 mm	128 mm以上 160 mm未満	160.0 mm	160 mm以上 180 mm未満	180.0 mm	180 mm以上 200 mm未満	204.0 mm	<p>8章 構造物取壊し工</p> <p>8.1 構造物取壊し工</p> <p>【省略】</p> <p>8.3 コンクリート削孔工</p> <p>1 適用 コンクリート構造物の削孔（さし筋、アンカー、防護柵類、落石防護柵類、排水穴等）作業に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 削孔数を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、削孔径（mm）、削孔深（mm）とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>削孔径(mm)</th> <th>削孔深(mm)</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート削孔工</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>孔</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 削孔径（mm）、削孔深（mm） 削孔径（mm）、削孔深（mm）は以下の区分に分類して算出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>削孔径（mm）</th> <th>削孔深（mm）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10 以上 30 未満</td> <td>100 以上 200 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">30 以上 60 以下</td> <td>100 以上 200 未満</td> </tr> <tr> <td>200 以上 400 未満</td> </tr> <tr> <td>400 以上 600 未満</td> </tr> </tbody> </table> <p>注）削孔径 60 mm超えは削孔径ごとに分けて数量を算出する。</p>	項目	区分	削孔径(mm)	削孔深(mm)	単位	数量	備考	コンクリート削孔工		○	○	孔			削孔径（mm）	削孔深（mm）	10 以上 30 未満	100 以上 200 以下	30 以上 60 以下	100 以上 200 未満	200 以上 400 未満	400 以上 600 未満	<p>字句と表の改正</p>
削孔機械	削孔径	削孔深																																																																																							
電動ハンマドリル	10 mm以上 30 mm未満	30 mm以上 400 mm未満																																																																																							
さく岩機（ハンドドリル）	30 mm以上 60 mm未満	100 mm以上 1, 100 mm未満																																																																																							
コンクリート穿孔機	60 mm以上 100 mm未満	50 mm以上 1, 100 mm未満																																																																																							
（電動式コアボーリングマシン）	100 mm以上 200 mm未満	50 mm以上 400 mm未満																																																																																							
項目	区分	属性情報																																																																																							
		削孔径	削孔深さ	単位	数量																																																																																				
コンクリート削孔工 （電動ハンマドリル 40 mm）		×	○	孔																																																																																					
コンクリート削孔 （さく岩機）		×	○	孔																																																																																					
コンクリート削孔 （コンクリート穿孔機）		○	○	孔																																																																																					
積算条件	区分	参考（使用ビット径）																																																																																							
削孔径	60 mm以上 64 mm未満	64.7 mm																																																																																							
	64 mm以上 77 mm未満	77.4 mm																																																																																							
	77 mm以上 90 mm未満	90.8 mm																																																																																							
	90 mm以上 100 mm未満	110.0 mm																																																																																							
	100 mm以上 110 mm未満	110.0 mm																																																																																							
	110 mm以上 128 mm未満	128.5 mm																																																																																							
	128 mm以上 160 mm未満	160.0 mm																																																																																							
	160 mm以上 180 mm未満	180.0 mm																																																																																							
	180 mm以上 200 mm未満	204.0 mm																																																																																							
項目	区分	削孔径(mm)	削孔深(mm)	単位	数量	備考																																																																																			
コンクリート削孔工		○	○	孔																																																																																					
削孔径（mm）	削孔深（mm）																																																																																								
10 以上 30 未満	100 以上 200 以下																																																																																								
30 以上 60 以下	100 以上 200 未満																																																																																								
	200 以上 400 未満																																																																																								
	400 以上 600 未満																																																																																								

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																		
<p>(3) <u>削孔深さによる区分は、以下のとおりとする。</u></p> <p>①<u>コンクリート削孔（電動ハンマドリル 40 mm）</u></p> <table border="1" data-bbox="181 264 926 344"> <tr> <td rowspan="2">削孔深さ</td> <td>30 mm以上 200 mm未満</td> </tr> <tr> <td>200 mm以上 400 mm未満</td> </tr> </table> <p>②<u>コンクリート削孔（さく岩機）</u></p> <table border="1" data-bbox="181 382 931 653"> <tr> <td rowspan="7">削孔深さ</td> <td>100 mm以上 200 mm未満</td> </tr> <tr> <td>200 mm以上 300 mm未満</td> </tr> <tr> <td>300 mm以上 400 mm未満</td> </tr> <tr> <td>400 mm以上 600 mm未満</td> </tr> <tr> <td>600 mm以上 800 mm未満</td> </tr> <tr> <td>800 mm以上 1,000 mm未満</td> </tr> <tr> <td>1,000 mm以上 1,100 mm以下</td> </tr> </table> <p>③<u>コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）</u></p> <table border="1" data-bbox="181 728 1341 957"> <tr> <td rowspan="6">削孔深さ</td> <td>50 mm以上 200 mm未満</td> </tr> <tr> <td>200 mm以上 400 mm未満</td> </tr> <tr> <td><u>(削孔径が 100 mm以上 200 mm以下の場合、削孔深さは 200 mm以上 400 mm以下)</u></td> </tr> <tr> <td>400 mm以上 600 mm未満</td> </tr> <tr> <td>600 mm以上 800 mm未満</td> </tr> <tr> <td>800 mm以上 1,100 mm以下</td> </tr> </table> <p>4 <u>数量算出方法</u> <u>数量算出は、「第 1 編（共通編） 1 章基本事項」による。</u></p>	削孔深さ	30 mm以上 200 mm未満	200 mm以上 400 mm未満	削孔深さ	100 mm以上 200 mm未満	200 mm以上 300 mm未満	300 mm以上 400 mm未満	400 mm以上 600 mm未満	600 mm以上 800 mm未満	800 mm以上 1,000 mm未満	1,000 mm以上 1,100 mm以下	削孔深さ	50 mm以上 200 mm未満	200 mm以上 400 mm未満	<u>(削孔径が 100 mm以上 200 mm以下の場合、削孔深さは 200 mm以上 400 mm以下)</u>	400 mm以上 600 mm未満	600 mm以上 800 mm未満	800 mm以上 1,100 mm以下		<p>字句と表の改正</p>
削孔深さ		30 mm以上 200 mm未満																		
	200 mm以上 400 mm未満																			
削孔深さ	100 mm以上 200 mm未満																			
	200 mm以上 300 mm未満																			
	300 mm以上 400 mm未満																			
	400 mm以上 600 mm未満																			
	600 mm以上 800 mm未満																			
	800 mm以上 1,000 mm未満																			
	1,000 mm以上 1,100 mm以下																			
削孔深さ	50 mm以上 200 mm未満																			
	200 mm以上 400 mm未満																			
	<u>(削孔径が 100 mm以上 200 mm以下の場合、削孔深さは 200 mm以上 400 mm以下)</u>																			
	400 mm以上 600 mm未満																			
	600 mm以上 800 mm未満																			
	800 mm以上 1,100 mm以下																			

改 正	現 行	備 考																																																				
<p>8.4 舗装版破碎工</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>3 区分 【省略】</p> <p>(3) 舗装版破碎厚さ区分 舗装版破碎厚さ区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="184 594 1210 1199"> <tr> <td rowspan="6">アスファルト舗装版</td> <td rowspan="2">障害物無し 騒音振動対策不要</td> <td>15 cm以下</td> </tr> <tr> <td>15 cmを超え 40 cm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">障害物無し 騒音振動対策必要</td> <td>15 cm以下</td> </tr> <tr> <td>15 cmを超え 35 cm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">障害物有り</td> <td>4 cm以下</td> </tr> <tr> <td>4 cmを超え 10 cm以下</td> </tr> <tr> <td>10 cmを超え 15 cm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">コンクリート舗装版</td> <td rowspan="2">障害物無し 騒音振動対策不要</td> <td>15 cm以下</td> </tr> <tr> <td>15 cmを超え 35 cm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">障害物無し 騒音振動対策必要</td> <td>15 cm以下</td> </tr> <tr> <td>15 cmを超え 35 cm以下</td> </tr> <tr> <td>コンクリート+アスファルト (カバー) 舗装版</td> <td>全体厚</td> <td>15 cm以上 35 cm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アスファルト (カバー) 舗装</td> <td></td> <td>15 cm以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15 cmを超え 22.5 cm以下</td> </tr> </table> <p>【省略】</p>	アスファルト舗装版	障害物無し 騒音振動対策不要	15 cm以下	15 cmを超え 40 cm以下	障害物無し 騒音振動対策必要	15 cm以下	15 cmを超え 35 cm以下	障害物有り	4 cm以下	4 cmを超え 10 cm以下	10 cmを超え 15 cm以下	コンクリート舗装版	障害物無し 騒音振動対策不要	15 cm以下	15 cmを超え 35 cm以下	障害物無し 騒音振動対策必要	15 cm以下	15 cmを超え 35 cm以下	コンクリート+アスファルト (カバー) 舗装版	全体厚	15 cm以上 35 cm以下	アスファルト (カバー) 舗装		15 cm以下		15 cmを超え 22.5 cm以下	<p>8.4 舗装版破碎工</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>3 区分 【省略】</p> <p>(3) 舗装版破碎厚さ区分 舗装版破碎厚さ区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1442 594 2469 1199"> <tr> <td rowspan="6">アスファルト舗装版</td> <td rowspan="2">障害物無し 騒音振動対策不要</td> <td>10 cm以下</td> </tr> <tr> <td>10 cmを超え 15 cm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">障害物無し 騒音振動対策必要</td> <td>15 cm以下</td> </tr> <tr> <td>15 cmを超え 35 cm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">障害物有り</td> <td>4 cm以下</td> </tr> <tr> <td>4 cmを超え 10 cm以下</td> </tr> <tr> <td>10 cmを超え 15 cm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">コンクリート舗装版</td> <td rowspan="2">障害物無し 騒音振動対策不要</td> <td>10 cm以下</td> </tr> <tr> <td>10 cmを超え 15 cm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">障害物無し 騒音振動対策必要</td> <td>15 cm以下</td> </tr> <tr> <td>15 cmを超え 35 cm以下</td> </tr> <tr> <td>コンクリート+アスファルト (カバー) 舗装版</td> <td>全体厚</td> <td>15 cm以上 35 cm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アスファルト (カバー) 舗装</td> <td></td> <td>15 cm以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15 cmを超え 22.5 cm以下</td> </tr> </table> <p>【省略】</p>	アスファルト舗装版	障害物無し 騒音振動対策不要	10 cm以下	10 cmを超え 15 cm以下	障害物無し 騒音振動対策必要	15 cm以下	15 cmを超え 35 cm以下	障害物有り	4 cm以下	4 cmを超え 10 cm以下	10 cmを超え 15 cm以下	コンクリート舗装版	障害物無し 騒音振動対策不要	10 cm以下	10 cmを超え 15 cm以下	障害物無し 騒音振動対策必要	15 cm以下	15 cmを超え 35 cm以下	コンクリート+アスファルト (カバー) 舗装版	全体厚	15 cm以上 35 cm以下	アスファルト (カバー) 舗装		15 cm以下		15 cmを超え 22.5 cm以下	<p>表内字句の改正</p>
アスファルト舗装版			障害物無し 騒音振動対策不要	15 cm以下																																																		
		15 cmを超え 40 cm以下																																																				
		障害物無し 騒音振動対策必要	15 cm以下																																																			
			15 cmを超え 35 cm以下																																																			
		障害物有り	4 cm以下																																																			
	4 cmを超え 10 cm以下																																																					
10 cmを超え 15 cm以下																																																						
コンクリート舗装版	障害物無し 騒音振動対策不要	15 cm以下																																																				
		15 cmを超え 35 cm以下																																																				
	障害物無し 騒音振動対策必要	15 cm以下																																																				
		15 cmを超え 35 cm以下																																																				
コンクリート+アスファルト (カバー) 舗装版	全体厚	15 cm以上 35 cm以下																																																				
アスファルト (カバー) 舗装		15 cm以下																																																				
		15 cmを超え 22.5 cm以下																																																				
アスファルト舗装版	障害物無し 騒音振動対策不要	10 cm以下																																																				
		10 cmを超え 15 cm以下																																																				
	障害物無し 騒音振動対策必要	15 cm以下																																																				
		15 cmを超え 35 cm以下																																																				
	障害物有り	4 cm以下																																																				
		4 cmを超え 10 cm以下																																																				
10 cmを超え 15 cm以下																																																						
コンクリート舗装版	障害物無し 騒音振動対策不要	10 cm以下																																																				
		10 cmを超え 15 cm以下																																																				
	障害物無し 騒音振動対策必要	15 cm以下																																																				
		15 cmを超え 35 cm以下																																																				
コンクリート+アスファルト (カバー) 舗装版	全体厚	15 cm以上 35 cm以下																																																				
アスファルト (カバー) 舗装		15 cm以下																																																				
		15 cmを超え 22.5 cm以下																																																				

改 正	現 行	備 考																																		
<p>13章 道路工</p> <p>13.1 不陸整正</p> <p>【省略】</p> <p>13.9 路面切削工</p> <p>1 適 用 路面切削機によるアスファルト舗装路面の切削工に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 切削面積、平均切削深、切削量を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区 分 区分は、施工区分、段差すりつけの撤去作業、D I D区間の有無、運搬距離とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>施工区分</th> <th>段差すりつけ 撤去作業</th> <th>D I D区間の 有無</th> <th>運搬距離</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路面切削</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>殻運搬（路面切削）</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 施工区分：平均切削深さ区分 施工区分：平均切削深さによる区分は、以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工区分：平均切削深さ</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4"></td> <td>全面切削6cm以下（4000m²以下）</td> </tr> <tr> <td>全面切削6cm以下（4000m²を超え）</td> </tr> <tr> <td>全面切削6cmを超え12cm以下</td> </tr> <tr> <td>带状切削3cm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 施工形態区分</p> <p>1) 施工形態による区分は、切削形態により次のとおりとする。</p> <p>①全面切削 (切削幅が重複作業となるような作業形態の場合)</p> <p>②带状切削 不陸部の切削幅が、路面切削機の切削幅より狭く、切削幅が重複作業とならない作業形態の場合</p>	項目	区分	施工区分	段差すりつけ 撤去作業	D I D区間の 有無	運搬距離	単位	数量	備考	路面切削		○	○	×	×	m ²			殻運搬（路面切削）		×	×	○	○	m ³			施工区分：平均切削深さ	区分		全面切削6cm以下（4000m ² 以下）	全面切削6cm以下（4000m ² を超え）	全面切削6cmを超え12cm以下	带状切削3cm以下	<p>13章 道路工</p> <p>13.1 不陸整正</p> <p>【省略】</p>	<p>項目の追加</p>
項目	区分	施工区分	段差すりつけ 撤去作業	D I D区間の 有無	運搬距離	単位	数量	備考																												
路面切削		○	○	×	×	m ²																														
殻運搬（路面切削）		×	×	○	○	m ³																														
施工区分：平均切削深さ	区分																																			
	全面切削6cm以下（4000m ² 以下）																																			
	全面切削6cm以下（4000m ² を超え）																																			
	全面切削6cmを超え12cm以下																																			
	带状切削3cm以下																																			

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p><u>2) 1 施工箇所において、全面切削と帯状切削が混在する場合は、全面、帯状ごとに数量を算出する。</u></p> <p>4 数量算出方法 <u>数量の算出は「第1編（共通編）1章 基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。</u></p> <p><u>(1) 平均切削深</u> <u>平均切削深（H）は、次式により算出する。</u></p> $H = \frac{A_v}{W} \times 100$ <p><u>H : 1 現場の平均切削深さ（cm）</u> <u>A v : 1 現場の平均切削断面積（m2）</u> <u>W : 平均切削幅員（m）</u> <u>なお、帯状切削の場合は、W=2mとする。</u></p> <p><u>(2) 帯状切削の施工面積</u> <u>帯状切削の施工面積は、次式により算出する。</u> <u>延べ施工面積=切削機の作業幅（2m）×延べ施工延長</u></p> <p>【省略】</p>	<p>【省略】</p>	<p>項目の追加</p>

改 正	現 行	備 考																																																																																																																																						
<p>17章 橋台・橋脚工</p> <p>17.1 橋台・橋脚工</p> <p>17.1.1 橋台・橋脚工 (1)</p> <p>1 適用 橋台及び橋脚の施工に適用する。なお、以下の適用を外れる橋台・橋脚については、橋台・橋脚工(2)」を適用する。</p> <p>(1) 適用出来る範囲</p> <p>1) 構造物高さ 5 m以上 25m未満のT形橋脚 (円形及び小判型含む) の場合</p> <p>2) 構造物高さ 5 m以上 20m未満の壁式橋脚 (小判型含む) の場合</p> <p>3) 構造物高さ 12m未満かつ翼壁厚 0.4m以上 0.6m以下の逆T式橋台の場合</p> <p>(2) 適用出来ない範囲</p> <p>1) 同一構造物で、フーチングと躯体のコンクリート強度が異なる場合</p> <p>2) フーチングのみの工事、又は躯体のみの工事の場合</p> <p><u>3) 化粧型枠を使用する場合</u></p> <p><u>4) 手摺先行型枠組足場以外の足場を使用する場合</u></p> <p>2 数量算出項目 橋台・橋脚本体コンクリート (橋台においては翼壁を含む)、化粧型枠、鉄筋の数量を区分毎に算出する。 また、基礎碎石 (敷均し厚 20 cm以下)、均しコンクリートについては必要の有無を確認する。 注) 1. 鉄筋については「3章 コンクリート工、3.3.1 鉄筋工」によるものとする。 2. 基礎碎石 (敷均し厚 20 cmを超える場合) については、「7章 基礎工、7.1 基礎・裏込碎石工」によるものとする。 3. 冬期の施工で防寒囲いが必要な場合については、「9章 仮設工、9.7.2 防寒囲い工」によるものとする。 4. 逆T式橋台において水抜パイプが必要な場合は、別途考慮するものとする。</p> <p>3 区分 区分は、規格、形式とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>規格</th> <th>形式</th> <th>必要性の有無</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋台・橋脚本体コンクリート</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>m³</td> <td>○</td> <td>注)1 注)2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">基礎碎石</td> <td>敷均し厚 20 cm以下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>敷均し厚 20 cm超え</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>—</td> <td>m²</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>均しコンクリート</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td>—</td> <td>t</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>足場</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>(×)</td> <td>—</td> <td>×</td> <td>注)3</td> </tr> <tr> <td>水抜パイプ</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>逆T式橋台のみ必要に応じ計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	項目	区分	規格	形式	必要性の有無	単位	数量	備考	橋台・橋脚本体コンクリート		○	○	—	m ³	○	注)1 注)2	基礎碎石	敷均し厚 20 cm以下	×	×	○	—	×		敷均し厚 20 cm超え	○	×	—	m ²	○		均しコンクリート		×	×	○	—	×		鉄筋		○	×	—	t	○		足場		×	×	(×)	—	×	注)3	水抜パイプ		×	×	—	—	○	逆T式橋台のみ必要に応じ計上	<p>17章 橋台・橋脚工</p> <p>17.1 橋台・橋脚工</p> <p>17.1.1 橋台・橋脚工 (1)</p> <p>1 適用 橋台及び橋脚の施工に適用する。なお、以下の適用を外れる橋台・橋脚については、橋台・橋脚工(2)」を適用する。</p> <p>(1) 適用出来る範囲</p> <p>1) 構造物高さ 5 m以上 25m未満のT形橋脚 (円形及び小判型含む) の場合</p> <p>2) 構造物高さ 5 m以上 20m未満の壁式橋脚 (小判型含む) の場合</p> <p>3) 構造物高さ 12m未満かつ翼壁厚 0.4m以上 0.6m以下の逆T式橋台の場合</p> <p>(2) 適用出来ない範囲</p> <p>1) 同一構造物で、フーチングと躯体のコンクリート強度が異なる場合</p> <p>2) フーチングのみの工事、又は躯体のみの工事の場合</p> <p><u>化粧型枠</u></p> <p>2 数量算出項目 橋台・橋脚本体コンクリート (橋台においては翼壁を含む)、化粧型枠、鉄筋の数量を区分毎に算出する。 また、基礎碎石 (敷均し厚 20 cm以下)、均しコンクリートについては必要の有無を確認する。 注) 1. 鉄筋については「3章 コンクリート工、3.3.1 鉄筋工」によるものとする。 2. 基礎碎石 (敷均し厚 20 cmを超える場合) については、「7章 基礎工、7.1 基礎・裏込碎石工」によるものとする。 3. 冬期の施工で防寒囲いが必要な場合については、「9章 仮設工、9.7.2 防寒囲い工」によるものとする。 4. 逆T式橋台において水抜パイプが必要な場合は、別途考慮するものとする。</p> <p>3 区分 区分は、規格、形式とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>規格</th> <th>形式</th> <th>必要性の有無</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋台・橋脚本体コンクリート</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>m³</td> <td>○</td> <td>注)1 注)2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">基礎碎石</td> <td>敷均し厚 20 cm以下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>敷均し厚 20 cm超え</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>—</td> <td>m²</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>均しコンクリート</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧型枠</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>—</td> <td>m²</td> <td>○</td> <td>必要量計上</td> </tr> <tr> <td>鉄筋</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td>—</td> <td>t</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>足場</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>(×)</td> <td>—</td> <td>×</td> <td>注)3</td> </tr> <tr> <td>水抜パイプ</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>逆T式橋台のみ必要に応じ計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	項目	区分	規格	形式	必要性の有無	単位	数量	備考	橋台・橋脚本体コンクリート		○	○	—	m ³	○	注)1 注)2	基礎碎石	敷均し厚 20 cm以下	×	×	○	—	×		敷均し厚 20 cm超え	○	×	—	m ²	○		均しコンクリート		×	×	○	—	×		化粧型枠		×	×	—	m²	○	必要量計上	鉄筋		○	×	—	t	○		足場		×	×	(×)	—	×	注)3	水抜パイプ		×	×	—	—	○	逆T式橋台のみ必要に応じ計上	<p>字句の追加</p> <p>表内項目の削除</p>
項目	区分	規格	形式	必要性の有無	単位	数量	備考																																																																																																																																	
橋台・橋脚本体コンクリート		○	○	—	m ³	○	注)1 注)2																																																																																																																																	
基礎碎石	敷均し厚 20 cm以下	×	×	○	—	×																																																																																																																																		
	敷均し厚 20 cm超え	○	×	—	m ²	○																																																																																																																																		
均しコンクリート		×	×	○	—	×																																																																																																																																		
鉄筋		○	×	—	t	○																																																																																																																																		
足場		×	×	(×)	—	×	注)3																																																																																																																																	
水抜パイプ		×	×	—	—	○	逆T式橋台のみ必要に応じ計上																																																																																																																																	
項目	区分	規格	形式	必要性の有無	単位	数量	備考																																																																																																																																	
橋台・橋脚本体コンクリート		○	○	—	m ³	○	注)1 注)2																																																																																																																																	
基礎碎石	敷均し厚 20 cm以下	×	×	○	—	×																																																																																																																																		
	敷均し厚 20 cm超え	○	×	—	m ²	○																																																																																																																																		
均しコンクリート		×	×	○	—	×																																																																																																																																		
化粧型枠		×	×	—	m²	○	必要量計上																																																																																																																																	
鉄筋		○	×	—	t	○																																																																																																																																		
足場		×	×	(×)	—	×	注)3																																																																																																																																	
水抜パイプ		×	×	—	—	○	逆T式橋台のみ必要に応じ計上																																																																																																																																	

改 正	現 行	備 考																																																																		
<p>19章 管水路工</p> <p>19.1 管体基礎工</p> <p>【省略】</p>	<p>19章 管水路工</p> <p>19.1 管体基礎工</p> <p>【省略】</p> <p>19.2 管基礎コンクリート工</p> <p>1 適用 <u>プレキャスト製品による遠心力鉄筋コンクリート管、鉄筋コンクリート管の基礎コンクリートに適用する。</u></p> <p>2 数量算出項目 <u>管基礎コンクリートの数量を区分ごとに算出する。</u></p> <p>3 区分 <u>区分は、材料規格、管径、支承角、基礎材の有無とする。</u></p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>材料規格</th> <th>管 径</th> <th>支承角</th> <th>基礎材の有無</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 鉄筋工は別途算出する。</p> <p>(2) 材料規格区分 <u>材料規格区分は次のとおりとする。</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>C-4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>RC-1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 管径区分 <u>管径区分は、次のとおりとする。</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>管径 (mm)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>150</td><td></td></tr> <tr><td>200</td><td></td></tr> <tr><td>250</td><td></td></tr> <tr><td>300</td><td></td></tr> <tr><td>350</td><td></td></tr> <tr><td>400</td><td></td></tr> <tr><td>450</td><td></td></tr> <tr><td>500</td><td></td></tr> <tr><td>600</td><td></td></tr> <tr><td>700</td><td></td></tr> <tr><td>800</td><td></td></tr> <tr><td>900</td><td></td></tr> <tr><td>1,000</td><td></td></tr> <tr><td>1,100</td><td></td></tr> <tr><td>1,200</td><td></td></tr> <tr><td>1,350</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(4) 支承角区分 <u>支承角区分は、次のとおりとする。</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支承角</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>90° 巻</td><td></td></tr> <tr><td>180° 巻</td><td></td></tr> <tr><td>360° 巻</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(5) 基礎材の有無区分 <u>基礎材の有無について区分する。</u></p>	項目	区分	材料規格	管 径	支承角	基礎材の有無	単位	数量	備 考	コンクリート		○	○	○	○	m ³			材 料			C-4		RC-1	管径 (mm)		150		200		250		300		350		400		450		500		600		700		800		900		1,000		1,100		1,200		1,350		支承角		90° 巻		180° 巻		360° 巻		<p>項目の削除</p>
項目	区分	材料規格	管 径	支承角	基礎材の有無	単位	数量	備 考																																																												
コンクリート		○	○	○	○	m ³																																																														
材 料																																																																				
	C-4																																																																			
	RC-1																																																																			
管径 (mm)																																																																				
150																																																																				
200																																																																				
250																																																																				
300																																																																				
350																																																																				
400																																																																				
450																																																																				
500																																																																				
600																																																																				
700																																																																				
800																																																																				
900																																																																				
1,000																																																																				
1,100																																																																				
1,200																																																																				
1,350																																																																				
支承角																																																																				
90° 巻																																																																				
180° 巻																																																																				
360° 巻																																																																				

新 旧 対 照 表

改 正							現 行							備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
19.2 管体工 19.2.1 管類布設工 1 適用 鉄筋コンクリート管、硬質ポリ塩化ビニル管、強化プラスチック複合管、ポリエチレン管、ダクタイル 鋳鉄管、鋼管、コルゲートパイプ、鉄筋コンクリート台付管、ヒューム管を施工する場合に適用する。 2 数量算出項目 各種管類の材料規格、施工箇所ごとに延長又は本数を算出する。 管渠工							19.3 管体工 19.3.1 管類布設工 1 適用 鉄筋コンクリート管、硬質ポリ塩化ビニル管、強化プラスチック複合管、ポリエチレン管、ダクタイル 鋳鉄管、鋼管、コルゲートパイプ、鉄筋コンクリート台付管、ヒューム管を施工する場合に適用する。 2 数量算出項目 各種管類の材料規格、施工箇所ごとに延長又は本数を算出する。							項目番号の改正																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">管種</th> <th colspan="3">布設手間 ※1</th> <th>接合手間 ※2</th> <th>切断手間 ※2</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>全体延長</th> <th>直管</th> <th>異形管・継手</th> <th>継手</th> <th>直管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>強化プラスチック複合管</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> </tr> <tr> <td>農業用ポリエチレン管</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダクタイル鋳鉄管</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 布設手間の「○」は本管の算出に必要な項目を示す。 ※2 接合手間、切断手間の「○」は本管の布設手間に含まないため別途算出が必要、「×」は含むことを示す。</p>							管種	布設手間 ※1			接合手間 ※2	切断手間 ※2	単位	備考	全体延長	直管	異形管・継手	継手	直管	硬質ポリ塩化ビニル管	○	×	×	×	×	m		強化プラスチック複合管	×	○	○	×	○	本		農業用ポリエチレン管	○	×	×	○	○	m		ダクタイル鋳鉄管	×	○	○	×	○	本		鋼管	×	○	○	×	○	本		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">材料規格</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>口径</th> <th>管種</th> <th>継手形状</th> <th>板厚</th> <th>管長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋コンクリート管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m (本)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td>注) 1</td> </tr> <tr> <td>硬質ポリ塩化ビニル管用継手</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>強化プラスチック複合管 (直管)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>強化プラスチック複合管 (短管)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>農業用ポリエチレン管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td>注) 1</td> </tr> <tr> <td>ダクタイル鋳鉄管 (直管)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダクタイル鋳鉄管 (短管)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管 (直管)</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m (本)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管 (短管)</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m (本)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管溶接</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼製異形管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td>注) 2</td> </tr> <tr> <td>コルゲートパイプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							項目	材料規格					施工箇所	単位	数量	備考	口径	管種	継手形状	板厚	管長	鉄筋コンクリート管	○	○	×	×	○	○	m (本)			硬質ポリ塩化ビニル管	○	○	○	×	○	×	m		注) 1	硬質ポリ塩化ビニル管用継手	○	×	○	×	×	×	個			強化プラスチック複合管 (直管)	○	○	×	×	○	○	本			強化プラスチック複合管 (短管)	○	○	×	×	○	○	本			農業用ポリエチレン管	○	○	○	×	×	×	m		注) 1	ダクタイル鋳鉄管 (直管)	○	○	○	×	○	○	本			ダクタイル鋳鉄管 (短管)	○	○	○	×	○	○	本			鋼管 (直管)	○	×	×	○	○	○	m (本)			鋼管 (短管)	○	×	×	○	○	○	m (本)			鋼管溶接	○	×	×	○	×	×	箇所			鋼製異形管	○	○	○	○	○	○	本		注) 2	コルゲートパイプ	○	○	×	○	×	×	m			項目番号の改正																																																																																												
管種	布設手間 ※1			接合手間 ※2	切断手間 ※2	単位		備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	全体延長	直管	異形管・継手	継手	直管																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
硬質ポリ塩化ビニル管	○	×	×	×	×	m																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
強化プラスチック複合管	×	○	○	×	○	本																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
農業用ポリエチレン管	○	×	×	○	○	m																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
ダクタイル鋳鉄管	×	○	○	×	○	本																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
鋼管	×	○	○	×	○	本																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
項目	材料規格					施工箇所	単位	数量	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	口径	管種	継手形状	板厚	管長																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
鉄筋コンクリート管	○	○	×	×	○	○	m (本)																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
硬質ポリ塩化ビニル管	○	○	○	×	○	×	m		注) 1																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
硬質ポリ塩化ビニル管用継手	○	×	○	×	×	×	個																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
強化プラスチック複合管 (直管)	○	○	×	×	○	○	本																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
強化プラスチック複合管 (短管)	○	○	×	×	○	○	本																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
農業用ポリエチレン管	○	○	○	×	×	×	m		注) 1																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
ダクタイル鋳鉄管 (直管)	○	○	○	×	○	○	本																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
ダクタイル鋳鉄管 (短管)	○	○	○	×	○	○	本																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
鋼管 (直管)	○	×	×	○	○	○	m (本)																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
鋼管 (短管)	○	×	×	○	○	○	m (本)																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
鋼管溶接	○	×	×	○	×	×	箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
鋼製異形管	○	○	○	○	○	○	本		注) 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
コルゲートパイプ	○	○	×	○	×	×	m																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
3 区分 区分は、材料規格、施工箇所、作業区分、管径、規格、管種とする。 (1-1) 数量算出項目及び区分一覧表							3 区分 区分は、材料規格、施工箇所、作業区分、管径、規格、管種とする。 (1-1) 数量算出項目及び区分一覧表							表の追加																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">材料規格</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>口径</th> <th>管種</th> <th>継手形状</th> <th>板厚</th> <th>管長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋コンクリート管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m (本)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td>注) 1</td> </tr> <tr> <td>硬質ポリ塩化ビニル管用継手</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>強化プラスチック複合管 (直管)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>強化プラスチック複合管 (短管)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>農業用ポリエチレン管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td>注) 1</td> </tr> <tr> <td>ダクタイル鋳鉄管 (直管)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダクタイル鋳鉄管 (短管)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管 (直管)</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m (本)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管 (短管)</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m (本)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管溶接</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼製異形管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td>注) 2</td> </tr> <tr> <td>コルゲートパイプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							項目	材料規格					施工箇所	単位	数量	備考	口径	管種	継手形状	板厚	管長	鉄筋コンクリート管	○	○	×	×	○	○	m (本)			硬質ポリ塩化ビニル管	○	○	○	×	○	×	m		注) 1	硬質ポリ塩化ビニル管用継手	○	×	○	×	×	×	個			強化プラスチック複合管 (直管)	○	○	×	×	○	○	本			強化プラスチック複合管 (短管)	○	○	×	×	○	○	本			農業用ポリエチレン管	○	○	○	×	×	×	m		注) 1	ダクタイル鋳鉄管 (直管)	○	○	○	×	○	○	本			ダクタイル鋳鉄管 (短管)	○	○	○	×	○	○	本			鋼管 (直管)	○	×	×	○	○	○	m (本)			鋼管 (短管)	○	×	×	○	○	○	m (本)			鋼管溶接	○	×	×	○	×	×	箇所			鋼製異形管	○	○	○	○	○	○	本		注) 2	コルゲートパイプ	○	○	×	○	×	×	m			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">材料規格</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>口径</th> <th>管種</th> <th>継手形状</th> <th>板厚</th> <th>管長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋コンクリート管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m (本)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td>注) 1</td> </tr> <tr> <td>硬質ポリ塩化ビニル管用継手</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>強化プラスチック複合管 (直管)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>強化プラスチック複合管 (短管)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>農業用ポリエチレン管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td>注) 1</td> </tr> <tr> <td>ダクタイル鋳鉄管 (直管)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダクタイル鋳鉄管 (短管)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管 (直管)</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m (本)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管 (短管)</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m (本)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管溶接</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼製異形管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td>注) 2</td> </tr> <tr> <td>コルゲートパイプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							項目	材料規格					施工箇所	単位	数量	備考	口径	管種	継手形状	板厚	管長	鉄筋コンクリート管	○	○	×	×	○	○	m (本)			硬質ポリ塩化ビニル管	○	○	○	×	○	×	m		注) 1	硬質ポリ塩化ビニル管用継手	○	×	○	×	×	×	個			強化プラスチック複合管 (直管)	○	○	×	×	○	○	本			強化プラスチック複合管 (短管)	○	○	×	×	○	○	本			農業用ポリエチレン管	○	○	○	×	×	×	m		注) 1	ダクタイル鋳鉄管 (直管)	○	○	○	×	○	○	本			ダクタイル鋳鉄管 (短管)	○	○	○	×	○	○	本			鋼管 (直管)	○	×	×	○	○	○	m (本)			鋼管 (短管)	○	×	×	○	○	○	m (本)			鋼管溶接	○	×	×	○	×	×	箇所			鋼製異形管	○	○	○	○	○	○	本		注) 2	コルゲートパイプ	○	○	×	○	×	×	m			表内字句の改正
項目	材料規格					施工箇所		単位	数量	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	口径	管種	継手形状	板厚	管長																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
鉄筋コンクリート管	○	○	×	×	○	○	m (本)																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
硬質ポリ塩化ビニル管	○	○	○	×	○	×	m		注) 1																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
硬質ポリ塩化ビニル管用継手	○	×	○	×	×	×	個																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
強化プラスチック複合管 (直管)	○	○	×	×	○	○	本																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
強化プラスチック複合管 (短管)	○	○	×	×	○	○	本																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
農業用ポリエチレン管	○	○	○	×	×	×	m		注) 1																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
ダクタイル鋳鉄管 (直管)	○	○	○	×	○	○	本																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
ダクタイル鋳鉄管 (短管)	○	○	○	×	○	○	本																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
鋼管 (直管)	○	×	×	○	○	○	m (本)																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
鋼管 (短管)	○	×	×	○	○	○	m (本)																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
鋼管溶接	○	×	×	○	×	×	箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
鋼製異形管	○	○	○	○	○	○	本		注) 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
コルゲートパイプ	○	○	×	○	×	×	m																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
項目	材料規格					施工箇所	単位	数量	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	口径	管種	継手形状	板厚	管長																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
鉄筋コンクリート管	○	○	×	×	○	○	m (本)																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
硬質ポリ塩化ビニル管	○	○	○	×	○	×	m		注) 1																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
硬質ポリ塩化ビニル管用継手	○	×	○	×	×	×	個																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
強化プラスチック複合管 (直管)	○	○	×	×	○	○	本																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
強化プラスチック複合管 (短管)	○	○	×	×	○	○	本																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
農業用ポリエチレン管	○	○	○	×	×	×	m		注) 1																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
ダクタイル鋳鉄管 (直管)	○	○	○	×	○	○	本																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
ダクタイル鋳鉄管 (短管)	○	○	○	×	○	○	本																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
鋼管 (直管)	○	×	×	○	○	○	m (本)																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
鋼管 (短管)	○	×	×	○	○	○	m (本)																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
鋼管溶接	○	×	×	○	×	×	箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
鋼製異形管	○	○	○	○	○	○	本		注) 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
コルゲートパイプ	○	○	×	○	×	×	m																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

新 旧 対 照 表

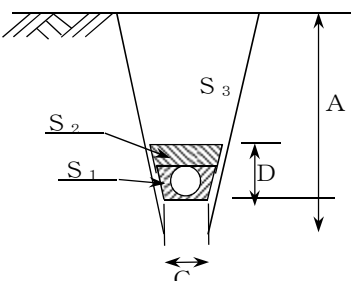
改 正	現 行	備 考																																																																																																																						
<p>注) 1. 布設延長の計上にあたっては、継手材の延長も含める。 2. スティフナー付鋼製短管、フランジ付鋼製短管、受口・挿口付鋼製短管等は短管として算出する。 曲管、T字管、片落ち管、空気弁用管、排泥用管、可とう管、フランジアダプター、特殊短管、ラップ管等は異形管として算出する。</p> <p>(1-2) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>作業区分</th> <th>管径</th> <th>規格</th> <th>管種</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋コンクリート台付管</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ヒューム管 (B形管)</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 鉄筋コンクリート台付管及びヒューム管 (B形管) の据付、撤去、据付・撤去の場合である。 2. 鉄筋コンクリート台付管の管種は、「鉄筋コンクリート台付管」、「鉄筋コンクリート高圧管」である。 3. 作業区分とは「据付」、「撤去」、「据付・撤去」である。</p> <p>(2) 材料規格区分 布設対象ごとに、上表に該当する項目について区分する。</p> <p>(3) 施工箇所区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所区分</th> <th>強化プラスチック複合管 ダクタイル鋳鉄管 鋼管</th> <th>素掘 矢板 たて込み簡易土留</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4 数量算出方法 数量の算出は、「1章 基本事項」によるほか、次の方法によるものとする。</p> <p>(1) ダクタイル鋳鉄異形管</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>口径</th> <th>形式</th> <th>分類</th> <th>塗装</th> <th>質量</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダクタイル鋳鉄異形管</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>kg/個</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 形式区分は、K形用及びT形用に区分する。 2. 分類区分は、下表によるものとし、1類～3類に区分する。 3. 塗装区分は、内面普通塗装及び内面エポキシ粉体塗装に区分する。 4. 質量は、1個当りの質量とし、カタログ等により算出するものとする。</p> <p>1) 分類表</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1類</td> <td>曲管 (45°、22° 1/2、11° 1/4、5° 5/8)、継輪、短管 (1号、2号)、T字管</td> </tr> <tr> <td>2類</td> <td>十字管、90° 曲管、ラップ口、制水弁副管、排吐管、フランジ付T字管、フランジ短管、片落管、フランジ蓋、人孔蓋</td> </tr> <tr> <td>3類</td> <td>3フランジT字管、2フランジT字管、2フランジ曲管 (45°、90°)、2フランジ片落管、乙字管、仕切弁副管 (1・2F)、乱尺短管</td> </tr> </tbody> </table> <p>19.2.2 管切断工</p> <p>1 適用 現場でダクタイル鋳鉄管及び強化プラスチック複合管、コンクリート管、鋼管およびポリエチレン管を切断する場合に適用する。</p> <p>2 数量算出項目</p>	項目	区分	作業区分	管径	規格	管種	単位	数量	備考	鉄筋コンクリート台付管		○	○	×	○	m			ヒューム管 (B形管)		○	○	○	×	m			施工箇所区分	強化プラスチック複合管 ダクタイル鋳鉄管 鋼管	素掘 矢板 たて込み簡易土留				項目	区分	口径	形式	分類	塗装	質量	単位	数量	備考	ダクタイル鋳鉄異形管		○	○	○	○	○	kg/個			1類	曲管 (45°、22° 1/2、11° 1/4、5° 5/8)、継輪、短管 (1号、2号)、T字管	2類	十字管、90° 曲管、ラップ口、制水弁副管、排吐管、フランジ付T字管、フランジ短管、片落管、フランジ蓋、人孔蓋	3類	3フランジT字管、2フランジT字管、2フランジ曲管 (45°、90°)、2フランジ片落管、乙字管、仕切弁副管 (1・2F)、乱尺短管	<p>注) 1. 布設延長の計上にあたっては、継手材の延長も含める。 2. スティフナー付鋼製短管、フランジ付鋼製短管、受口・挿口付鋼製短管等は短管として算出する。 曲管、T字管、片落ち管、空気弁用管、排泥用管、可とう管、フランジアダプター、特殊短管、ラップ管等は異形管として算出する。</p> <p>(1-2) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>作業区分</th> <th>管径</th> <th>規格</th> <th>管種</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋コンクリート台付管</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ヒューム管 (B形管)</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 鉄筋コンクリート台付管及びヒューム管 (B形管) の据付、撤去、据付・撤去の場合である。 2. 鉄筋コンクリート台付管の管種は、「鉄筋コンクリート台付管」、「鉄筋コンクリート高圧管」である。 3. 作業区分とは「据付」、「撤去」、「据付・撤去」である。</p> <p>(2) 材料規格区分 布設対象ごとに、上表に該当する項目について区分する。</p> <p>(3) 施工箇所区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所区分</th> <th>強化プラスチック複合管 ダクタイル鋳鉄管 鋼管</th> <th>素掘 矢板 たて込み簡易土留</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4 数量算出方法 数量の算出は、「1章 基本事項」によるほか、次の方法によるものとする。</p> <p>(1) ダクタイル鋳鉄異形管</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>口径</th> <th>形式</th> <th>分類</th> <th>塗装</th> <th>質量</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダクタイル鋳鉄異形管</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>kg/個</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 形式区分は、K形用及びT形用に区分する。 2. 分類区分は、下表によるものとし、1類～3類に区分する。 3. 塗装区分は、内面普通塗装及び内面エポキシ粉体塗装に区分する。 4. 質量は、1個当りの質量とし、カタログ等により算出するものとする。</p> <p>1) 分類表</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1類</td> <td>曲管 (45°、22° 1/2、11° 1/4、5° 5/8)、継輪、短管 (1号、2号)、T字管</td> </tr> <tr> <td>2類</td> <td>十字管、90° 曲管、ラップ口、制水弁副管、排吐管、フランジ付T字管、フランジ短管、片落管、フランジ蓋、人孔蓋</td> </tr> <tr> <td>3類</td> <td>3フランジT字管、2フランジT字管、2フランジ曲管 (45°、90°)、2フランジ片落管、乙字管、仕切弁副管 (1・2F)、乱尺短管</td> </tr> </tbody> </table> <p>19.3.2 管切断工</p> <p>1 適用 現場でダクタイル鋳鉄管及び強化プラスチック複合管、コンクリート管、鋼管およびポリエチレン管を切断する場合に適用する。</p> <p>2 数量算出項目</p>	項目	区分	作業区分	管径	規格	管種	単位	数量	備考	鉄筋コンクリート台付管		○	○	×	○	m			ヒューム管 (B形管)		○	○	○	×	m			施工箇所区分	強化プラスチック複合管 ダクタイル鋳鉄管 鋼管	素掘 矢板 たて込み簡易土留				項目	区分	口径	形式	分類	塗装	質量	単位	数量	備考	ダクタイル鋳鉄異形管		○	○	○	○	○	kg/個			1類	曲管 (45°、22° 1/2、11° 1/4、5° 5/8)、継輪、短管 (1号、2号)、T字管	2類	十字管、90° 曲管、ラップ口、制水弁副管、排吐管、フランジ付T字管、フランジ短管、片落管、フランジ蓋、人孔蓋	3類	3フランジT字管、2フランジT字管、2フランジ曲管 (45°、90°)、2フランジ片落管、乙字管、仕切弁副管 (1・2F)、乱尺短管	<p>項目番号の改正</p>
項目	区分	作業区分	管径	規格	管種	単位	数量	備考																																																																																																																
鉄筋コンクリート台付管		○	○	×	○	m																																																																																																																		
ヒューム管 (B形管)		○	○	○	×	m																																																																																																																		
施工箇所区分	強化プラスチック複合管 ダクタイル鋳鉄管 鋼管	素掘 矢板 たて込み簡易土留																																																																																																																						
項目	区分	口径	形式	分類	塗装	質量	単位	数量	備考																																																																																																															
ダクタイル鋳鉄異形管		○	○	○	○	○	kg/個																																																																																																																	
1類	曲管 (45°、22° 1/2、11° 1/4、5° 5/8)、継輪、短管 (1号、2号)、T字管																																																																																																																							
2類	十字管、90° 曲管、ラップ口、制水弁副管、排吐管、フランジ付T字管、フランジ短管、片落管、フランジ蓋、人孔蓋																																																																																																																							
3類	3フランジT字管、2フランジT字管、2フランジ曲管 (45°、90°)、2フランジ片落管、乙字管、仕切弁副管 (1・2F)、乱尺短管																																																																																																																							
項目	区分	作業区分	管径	規格	管種	単位	数量	備考																																																																																																																
鉄筋コンクリート台付管		○	○	×	○	m																																																																																																																		
ヒューム管 (B形管)		○	○	○	×	m																																																																																																																		
施工箇所区分	強化プラスチック複合管 ダクタイル鋳鉄管 鋼管	素掘 矢板 たて込み簡易土留																																																																																																																						
項目	区分	口径	形式	分類	塗装	質量	単位	数量	備考																																																																																																															
ダクタイル鋳鉄異形管		○	○	○	○	○	kg/個																																																																																																																	
1類	曲管 (45°、22° 1/2、11° 1/4、5° 5/8)、継輪、短管 (1号、2号)、T字管																																																																																																																							
2類	十字管、90° 曲管、ラップ口、制水弁副管、排吐管、フランジ付T字管、フランジ短管、片落管、フランジ蓋、人孔蓋																																																																																																																							
3類	3フランジT字管、2フランジT字管、2フランジ曲管 (45°、90°)、2フランジ片落管、乙字管、仕切弁副管 (1・2F)、乱尺短管																																																																																																																							

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																																																													
<p>管種別、口径別に必要箇所および延長を算出する。</p> <p>3 区 分 区分は、口径、規格とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区 分</th> <th>口 径</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダクタイル 鋳 鉄 管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>強化プラスチック複合管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート管</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td>切断延長(管周長)</td> </tr> <tr> <td>ポリエチレン管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 切断し残った管については、産業廃棄物として考慮すること。</p> <p>(2) 口径区分 口径毎に区分する。</p> <p>19.2.3 鋼管継手塗装</p> <p>1 適 用 鋼管継手溶接箇所の塗装作業を行う場合に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 鋼管継手塗装箇所を口径別、施工区分別に種別に算出する。</p> <p>3 区 分 区分は、口径、施工区分別とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区 分</th> <th>口 径</th> <th>施工区分</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼管継手塗装 (外面)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管継手塗装 (内面)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 口径区分 口径毎に区分する。</p> <p>(3) 施工区分 施工区分は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">鋼管継手塗装 (外面)</td> <td>耐衝撃シートあり</td> </tr> <tr> <td>耐衝撃シートなし</td> </tr> </table>	項目	区 分	口 径	単 位	数 量	備 考	ダクタイル 鋳 鉄 管	○	○	箇所			強化プラスチック複合管	○	○	箇所			コンクリート管	×	×	m		切断延長(管周長)	ポリエチレン管	○	○	箇所			項目	区 分	口 径	施工区分	単 位	数 量	備 考	鋼管継手塗装 (外面)	○	○	○	箇所			鋼管継手塗装 (内面)	○	○	×	箇所			鋼管継手塗装 (外面)	耐衝撃シートあり	耐衝撃シートなし	<p>管種別、口径別に必要箇所および延長を算出する。</p> <p>3 区 分 区分は、口径、規格とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区 分</th> <th>口 径</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダクタイル 鋳 鉄 管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>強化プラスチック複合管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート管</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td>切断延長(管周長)</td> </tr> <tr> <td><u>鋼 管</u></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポリエチレン管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 切断し残った管については、産業廃棄物として考慮すること。</p> <p>(2) 口径区分 口径毎に区分する。</p> <p>(3) 規格区分 <u>規格区分は、次のとおりとする。</u></p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">鋼管規格</td> <td>STW370</td> </tr> <tr> <td>STW400</td> </tr> <tr> <td>STW290</td> </tr> <tr> <td>STW400 (B)</td> </tr> </table> <p>19.3.3 鋼管継手塗装</p> <p>1 適 用 鋼管継手溶接箇所の塗装作業を行う場合に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 鋼管継手塗装箇所を口径別、施工区分別に種別に算出する。</p> <p>3 区 分 区分は、口径、施工区分別とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区 分</th> <th>口 径</th> <th>施工区分</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼管継手塗装 (外面)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管継手塗装 (内面)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 口径区分 口径毎に区分する。</p> <p>(3) 施工区分 施工区分は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">鋼管継手塗装 (外面)</td> <td>耐衝撃シートあり</td> </tr> <tr> <td>耐衝撃シートなし</td> </tr> </table>	項目	区 分	口 径	規 格	単 位	数 量	備 考	ダクタイル 鋳 鉄 管	○	○	×	箇所			強化プラスチック複合管	○	○	×	箇所			コンクリート管	×	×	×	m		切断延長(管周長)	<u>鋼 管</u>	○	○	○	箇所			ポリエチレン管	○	○	×	箇所			鋼管規格	STW370	STW400	STW290	STW400 (B)	項目	区 分	口 径	施工区分	単 位	数 量	備 考	鋼管継手塗装 (外面)	○	○	○	箇所			鋼管継手塗装 (内面)	○	○	×	箇所			鋼管継手塗装 (外面)	耐衝撃シートあり	耐衝撃シートなし	<p>表内項目・区分の削除</p> <p>区分の削除</p> <p>項目番号の改正</p>
項目	区 分	口 径	単 位	数 量	備 考																																																																																																																										
ダクタイル 鋳 鉄 管	○	○	箇所																																																																																																																												
強化プラスチック複合管	○	○	箇所																																																																																																																												
コンクリート管	×	×	m		切断延長(管周長)																																																																																																																										
ポリエチレン管	○	○	箇所																																																																																																																												
項目	区 分	口 径	施工区分	単 位	数 量	備 考																																																																																																																									
鋼管継手塗装 (外面)	○	○	○	箇所																																																																																																																											
鋼管継手塗装 (内面)	○	○	×	箇所																																																																																																																											
鋼管継手塗装 (外面)	耐衝撃シートあり																																																																																																																														
	耐衝撃シートなし																																																																																																																														
項目	区 分	口 径	規 格	単 位	数 量	備 考																																																																																																																									
ダクタイル 鋳 鉄 管	○	○	×	箇所																																																																																																																											
強化プラスチック複合管	○	○	×	箇所																																																																																																																											
コンクリート管	×	×	×	m		切断延長(管周長)																																																																																																																									
<u>鋼 管</u>	○	○	○	箇所																																																																																																																											
ポリエチレン管	○	○	×	箇所																																																																																																																											
鋼管規格	STW370																																																																																																																														
	STW400																																																																																																																														
	STW290																																																																																																																														
	STW400 (B)																																																																																																																														
項目	区 分	口 径	施工区分	単 位	数 量	備 考																																																																																																																									
鋼管継手塗装 (外面)	○	○	○	箇所																																																																																																																											
鋼管継手塗装 (内面)	○	○	×	箇所																																																																																																																											
鋼管継手塗装 (外面)	耐衝撃シートあり																																																																																																																														
	耐衝撃シートなし																																																																																																																														

改 正	現 行	備 考																																																																																																																				
<p>19.2.4 弁設置工</p> <p>1 適用 仕切弁、バタフライ弁、水道用空気弁、急排空気弁、ねじ込み形の小型バルブの設置に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 弁の個数を区分別に算出する。 <u>弁類設置工(管渠工)</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">フランジ接合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制水弁(人力)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>小バルブ類</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>空気弁</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>制水弁(機械)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ ○は設置手間にフランジ接合が含まれる。</p> <p>3 区分 区分は、口径、材質、形式とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>口径</th> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制水弁</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>空気弁</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小バルブ類</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 口径区分 口径毎に区分する。</p> <p>(3) 材質区分 材質は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>鋳鉄製</td> </tr> <tr> <td></td> <td>樹脂製</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 形式区分 形式区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>形式区分</th> <th>制水弁</th> <th>仕切弁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>バタフライ弁(フランジ型)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>バタフライ弁(フランジレス型)</td> </tr> <tr> <td></td> <th>空気弁</th> <td>水道用空気弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>急排空気弁</td> </tr> </tbody> </table>	項目	フランジ接合	制水弁(人力)	○	小バルブ類	○	空気弁	○	制水弁(機械)	○	項目	区分	口径	材質	形式	単位	数量	備考	制水弁		○	○	○	基			空気弁		○	×	○	基			小バルブ類		○	×	×	個			材質	材質		鋳鉄製		樹脂製	形式区分	制水弁	仕切弁			バタフライ弁(フランジ型)			バタフライ弁(フランジレス型)		空気弁	水道用空気弁			急排空気弁	<p>19.3.4 弁設置工</p> <p>1 適用 仕切弁、バタフライ弁、水道用空気弁、急排空気弁、ねじ込み形の小型バルブの設置に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 弁の個数を区分別に算出する。</p> <p>3 区分 区分は、口径、材質、形式とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>口径</th> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制水弁</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>空気弁</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小バルブ類</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 口径区分 口径毎に区分する。</p> <p>(3) 材質区分 材質は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>鋳鉄製</td> </tr> <tr> <td></td> <td>樹脂製</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 形式区分 形式区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>形式区分</th> <th>制水弁</th> <th>仕切弁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>バタフライ弁(フランジ型)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>バタフライ弁(フランジレス型)</td> </tr> <tr> <td></td> <th>空気弁</th> <td>水道用空気弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>急排空気弁</td> </tr> </tbody> </table>	項目	区分	口径	材質	形式	単位	数量	備考	制水弁		○	○	○	基			空気弁		○	×	○	基			小バルブ類		○	×	×	個			材質	材質		鋳鉄製		樹脂製	形式区分	制水弁	仕切弁			バタフライ弁(フランジ型)			バタフライ弁(フランジレス型)		空気弁	水道用空気弁			急排空気弁	<p>項目番号の改正</p> <p>表の追加</p>
項目	フランジ接合																																																																																																																					
制水弁(人力)	○																																																																																																																					
小バルブ類	○																																																																																																																					
空気弁	○																																																																																																																					
制水弁(機械)	○																																																																																																																					
項目	区分	口径	材質	形式	単位	数量	備考																																																																																																															
制水弁		○	○	○	基																																																																																																																	
空気弁		○	×	○	基																																																																																																																	
小バルブ類		○	×	×	個																																																																																																																	
材質	材質																																																																																																																					
	鋳鉄製																																																																																																																					
	樹脂製																																																																																																																					
形式区分	制水弁	仕切弁																																																																																																																				
		バタフライ弁(フランジ型)																																																																																																																				
		バタフライ弁(フランジレス型)																																																																																																																				
	空気弁	水道用空気弁																																																																																																																				
		急排空気弁																																																																																																																				
項目	区分	口径	材質	形式	単位	数量	備考																																																																																																															
制水弁		○	○	○	基																																																																																																																	
空気弁		○	×	○	基																																																																																																																	
小バルブ類		○	×	×	個																																																																																																																	
材質	材質																																																																																																																					
	鋳鉄製																																																																																																																					
	樹脂製																																																																																																																					
形式区分	制水弁	仕切弁																																																																																																																				
		バタフライ弁(フランジ型)																																																																																																																				
		バタフライ弁(フランジレス型)																																																																																																																				
	空気弁	水道用空気弁																																																																																																																				
		急排空気弁																																																																																																																				

改 正	現 行	備 考
<p>4 参考図</p> <p>分木工</p> <p>制水弁工</p> <p>本管</p> <p>継手の接合費を含む</p> <p>継手の接合費を含む</p> <p>空気弁工</p> <p>空気弁に接合費が含まれる</p> <p>2F 短管の布設費に接合費が含まれる</p> <p>本管</p>	<p>4 参考図</p> <p>空気弁工</p> <p>空気弁計上</p> <p>管体工計上</p> <p>分木工</p> <p>管体工計上</p> <p>分木工計上</p> <p>管体工計上</p> <p>分木工計上</p>	<p>参考図の改正</p>

改 正	現 行	備 考																																															
<p>20章 営農飲雑用水施設工</p> <p>20.1 土工</p> <p>20.2 管体工</p> <p>20.2.1 管類布設工</p> <p>20.2.2 管切断工</p> <p>20.2.3 弁設置工</p>		章の追加																																															
		[改正の頁は省略]																																															
<p>20章 営農飲雑用水施設工</p> <p>20.1 土工</p> <p>1 適用</p> <p>本資料は、パイプライン工事及び営農飲雑用水施設工事の管路の土工作業に適用する。</p> <p>2 数量算出項目</p> <p>掘削、埋戻しを区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分</p> <p>区分は、断面、土質、作業条件、床均し、締固めとする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分 項目</th> <th>断面</th> <th>土質</th> <th>作業条件</th> <th>床均し</th> <th>締固め</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘削</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>埋戻し</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 断面区分</p> <p>断面区分は次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>断面</th> <th>掘削断面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>埋戻し断面 (S₁)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>埋戻し断面 (S₂)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>埋戻し断面 (S₃)</td> </tr> </tbody> </table>  <p>(3) 土質区分</p> <p>土質区分は次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>土 質</th> <th>砂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>砂質土</td> </tr> <tr> <td></td> <td>粘性土</td> </tr> <tr> <td></td> <td>レキ質土</td> </tr> <tr> <td></td> <td>火山灰</td> </tr> <tr> <td></td> <td>泥炭</td> </tr> </tbody> </table>	区分 項目	断面	土質	作業条件	床均し	締固め	単位	数量	備考	掘削	○	○	○	○	×	m			埋戻し	○	○	○	×	○	m			断面	掘削断面		埋戻し断面 (S ₁)		埋戻し断面 (S ₂)		埋戻し断面 (S ₃)	土 質	砂		砂質土		粘性土		レキ質土		火山灰		泥炭		章の追加
区分 項目	断面	土質	作業条件	床均し	締固め	単位	数量	備考																																									
掘削	○	○	○	○	×	m																																											
埋戻し	○	○	○	×	○	m																																											
断面	掘削断面																																																
	埋戻し断面 (S ₁)																																																
	埋戻し断面 (S ₂)																																																
	埋戻し断面 (S ₃)																																																
土 質	砂																																																
	砂質土																																																
	粘性土																																																
	レキ質土																																																
	火山灰																																																
	泥炭																																																

改 正	現 行	備 考																																																																																																																																							
<p>(4) 作業条件区分 作業条件区分は次のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr><td>作業条件</td><td>良好</td></tr> <tr><td></td><td>普通</td></tr> <tr><td></td><td>不良</td></tr> </table> <p>(5) 床均し区分 作業条件区分は次のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr><td>床均し</td><td>有り</td></tr> <tr><td></td><td>無し</td></tr> </table> <p>(6) 締固め区分 作業条件区分は次のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr><td>締固め</td><td>区分Ⅰ</td></tr> <tr><td></td><td>区分Ⅱ</td></tr> </table> <p>20.2 管体工</p> <p>20.2.1 管類布設工</p> <p>1 適 用 鋳鉄管、小口径鋼管、硬質塩化ビニル管、ポリエチレン管を施工する場合に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 各種管類の材料規格、施工箇所ごとに延長を算出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">管種</th> <th colspan="3">布設手間 ※3</th> <th>接合手間 ※4</th> <th>切断手間 ※4</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>全体延長</th> <th>直管</th> <th>異形管・継手</th> <th>継手</th> <th>直管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋳鉄管</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m</td> <td>※1</td> </tr> <tr> <td>小口径鋼管</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m</td> <td>※2</td> </tr> <tr> <td>硬質塩化ビニル管</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m</td> <td>※2</td> </tr> <tr> <td>ポリエチレン管</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m</td> <td>※2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 伸縮可とう管は全体延長から除いて、別途計上する。 ※2 継手1箇所あたり2口を標準とし、1口がある場合は2口と分けて箇所数を計上すること。 ※3 布設手間の「○」は本管の算出に必要な項目を示す。 ※4 接合手間、切断手間の「○」は本管の布設手間に含まないため別途算出が必要、「×」は含むことを示す。</p> <p>3 区 分 区分は、材料規格、施工箇所とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">材料規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>口径</th> <th>管種</th> <th>継手形状</th> <th>割増 (特殊形状)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋳鉄管(直管)</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋳鉄管据付</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋳鉄管継手接合</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>口</td> <td></td> <td>注)1</td> </tr> <tr> <td>小口径鋼管</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m (本)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポリエチレン管</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>硬質塩化ビニル管</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>硬質塩化ビニル管用継手</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>口</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業条件	良好		普通		不良	床均し	有り		無し	締固め	区分Ⅰ		区分Ⅱ	管種	布設手間 ※3			接合手間 ※4	切断手間 ※4	単位	備 考	全体延長	直管	異形管・継手	継手	直管	鋳鉄管	○	×	×	○	○	m	※1	小口径鋼管	○	×	×	○	○	m	※2	硬質塩化ビニル管	○	×	×	○	○	m	※2	ポリエチレン管	○	×	×	○	○	m	※2	項目	区分	材料規格				単位	数量	備 考	口径	管種	継手形状	割増 (特殊形状)	鋳鉄管(直管)		○	○	○	×	本			鋳鉄管据付		○	×	×	×	m			鋳鉄管継手接合		○	×	○	○	口		注)1	小口径鋼管		○	×	○	○	m (本)			ポリエチレン管		○	○	○	×	m			硬質塩化ビニル管		○	○	×	×	m			硬質塩化ビニル管用継手		○	×	○	×	口				章の追加
作業条件	良好																																																																																																																																								
	普通																																																																																																																																								
	不良																																																																																																																																								
床均し	有り																																																																																																																																								
	無し																																																																																																																																								
締固め	区分Ⅰ																																																																																																																																								
	区分Ⅱ																																																																																																																																								
管種	布設手間 ※3			接合手間 ※4	切断手間 ※4	単位	備 考																																																																																																																																		
	全体延長	直管	異形管・継手	継手	直管																																																																																																																																				
鋳鉄管	○	×	×	○	○	m	※1																																																																																																																																		
小口径鋼管	○	×	×	○	○	m	※2																																																																																																																																		
硬質塩化ビニル管	○	×	×	○	○	m	※2																																																																																																																																		
ポリエチレン管	○	×	×	○	○	m	※2																																																																																																																																		
項目	区分	材料規格				単位	数量	備 考																																																																																																																																	
		口径	管種	継手形状	割増 (特殊形状)																																																																																																																																				
鋳鉄管(直管)		○	○	○	×	本																																																																																																																																			
鋳鉄管据付		○	×	×	×	m																																																																																																																																			
鋳鉄管継手接合		○	×	○	○	口		注)1																																																																																																																																	
小口径鋼管		○	×	○	○	m (本)																																																																																																																																			
ポリエチレン管		○	○	○	×	m																																																																																																																																			
硬質塩化ビニル管		○	○	×	×	m																																																																																																																																			
硬質塩化ビニル管用継手		○	×	○	×	口																																																																																																																																			

改 正	現 行	備 考																																						
<p><u>注)1 継手材料費は別途計上すること。</u></p> <p><u>(2) 口径区分</u> 口径毎に区分する。</p> <p><u>(3) 管種区分</u> 管種毎に区分する。</p> <p><u>(4) 継手形状区分</u> K形継手、T形継手、GX形継手、NS（E種）形継手、RR継手、TS継手に区分する。</p> <p><u>(5) 割増区分（特殊形状）</u> 特殊継手構造の場合は別途、区分する。</p> <p>20.2.2 管切断工</p> <p>1 適用 現場で铸铁管及び鋼管、硬質塩化ビニル管およびポリエチレン管を切断する場合に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 管種別、口径別に必要箇所および延長を算出する。</p> <p>3 区分 区分は、口径、規格とする。</p> <p><u>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目 \ 区分</th> <th style="text-align: center;">口 径</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鑄 鉄 管</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">口</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼 管</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">口</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポ リ エ チ レ ン 管</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><u>注) 切断し残った管については、産業廃棄物として考慮すること。</u></p> <p><u>(2) 口径区分</u> 口径毎に区分する。</p> <p><u>(3) 規格区分</u> 規格区分は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">鋼管規格</td> <td>STW370</td> </tr> <tr> <td></td> <td>STW400</td> </tr> <tr> <td></td> <td>STW290</td> </tr> <tr> <td></td> <td>STW400 (B)</td> </tr> </table>	項目 \ 区分	口 径	規 格	単 位	数 量	備 考	鑄 鉄 管	○	×	口			鋼 管	○	○	箇所			硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管	○	×	口			ポ リ エ チ レ ン 管	○	×	箇所			鋼管規格	STW370		STW400		STW290		STW400 (B)		<p>章の追加</p>
項目 \ 区分	口 径	規 格	単 位	数 量	備 考																																			
鑄 鉄 管	○	×	口																																					
鋼 管	○	○	箇所																																					
硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管	○	×	口																																					
ポ リ エ チ レ ン 管	○	×	箇所																																					
鋼管規格	STW370																																							
	STW400																																							
	STW290																																							
	STW400 (B)																																							

改 正	現 行	備 考																																																																	
<p>20.2.3 弁設置工</p> <p>1 適 用 仕切弁、バタフライ弁、水道用空気弁、急排空気弁、ねじ込み形の小型バルブの設置に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 弁の個数を区分別に算出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>フランジ接合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋳鉄製仕切弁</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>鋳鉄・鋼板製バタフライ弁</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>仕切弁・バタフライ弁</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>合成樹脂製仕切弁・バタフライ弁</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>空気弁</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ ○は設置手間にフランジ接合が含まれる。×は含まれないため接合費を別途計上する。</p> <p>3 区 分 区分は、口径、材質、形式とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区 分</th> <th>口 径</th> <th>材 質</th> <th>形 式</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制 水 弁</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>空 気 弁</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小バルブ類</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 口径区分 口径毎に区分する。</p> <p>(3) 材質区分 材質は次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 質</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>鋳鉄製</td> </tr> <tr> <td></td> <td>樹脂製</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 形式区分 形式区分は次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式区分</th> <th>制水弁</th> <th>仕切弁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>バタフライ弁 (フランジ型)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>バタフライ弁 (フランジレス型)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>空気弁</td> <td>水道用空気弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>急排空気弁</td> </tr> </tbody> </table>	項目	フランジ接合	鋳鉄製仕切弁	×	鋳鉄・鋼板製バタフライ弁	×	仕切弁・バタフライ弁	×	合成樹脂製仕切弁・バタフライ弁	×	空気弁	○	項目	区 分	口 径	材 質	形 式	単 位	数 量	備 考	制 水 弁	○	○	○	○	基			空 気 弁	○	×	○	○	基			小バルブ類	○	×	×	×	個			材 質	材質		鋳鉄製		樹脂製	形式区分	制水弁	仕切弁			バタフライ弁 (フランジ型)			バタフライ弁 (フランジレス型)		空気弁	水道用空気弁			急排空気弁		章の追加
項目	フランジ接合																																																																		
鋳鉄製仕切弁	×																																																																		
鋳鉄・鋼板製バタフライ弁	×																																																																		
仕切弁・バタフライ弁	×																																																																		
合成樹脂製仕切弁・バタフライ弁	×																																																																		
空気弁	○																																																																		
項目	区 分	口 径	材 質	形 式	単 位	数 量	備 考																																																												
制 水 弁	○	○	○	○	基																																																														
空 気 弁	○	×	○	○	基																																																														
小バルブ類	○	×	×	×	個																																																														
材 質	材質																																																																		
	鋳鉄製																																																																		
	樹脂製																																																																		
形式区分	制水弁	仕切弁																																																																	
		バタフライ弁 (フランジ型)																																																																	
		バタフライ弁 (フランジレス型)																																																																	
	空気弁	水道用空気弁																																																																	
		急排空気弁																																																																	

改 正	現 行	備 考
<p>4 参考図</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>分水工</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>制水弁工</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>空気弁工</p> </div>		<p>章の追加</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p style="text-align: center;">21章 ほ場整備工</p> <p>21.1 設計数量算出の基本的な考え方.....</p> <p>21.2 整地工.....</p> <p> 21.2.1 整地工.....</p> <p> 21.2.2 反転均平工.....</p> <p> 21.2.3 畦畔築立工.....</p> <p>21.3 客土運搬工.....</p> <p>21.4 法面整形工.....</p> <p>21.5 暗渠排水工.....</p> <p> 21.5.1 暗渠排水工の数量について.....</p> <p> 21.5.2 暗渠排水工.....</p> <p> 21.5.3 水閘管及び接続管（無孔管）設置.....</p> <p> 21.5.4 集中管理孔の設置.....</p>	<p style="text-align: center;">20章 ほ場整備工</p> <p>20.1 設計数量算出の基本的な考え方..... 351</p> <p>20.2 整地工..... 353</p> <p> 20.2.1 整地工..... 353</p> <p> 20.2.2 反転均平工..... 355</p> <p> 20.2.3 畦畔築立工..... 357</p> <p>20.3 客土運搬工..... 358</p> <p>20.4 法面整形工..... 359</p> <p>20.5 暗渠排水工..... 361</p> <p> 20.5.1 暗渠排水工の数量について..... 361</p> <p> 20.5.2 暗渠排水工..... 362</p> <p> 20.5.3 水閘管及び接続管（無孔管）設置..... 365</p> <p> 20.5.4 集中管理孔の設置..... 366</p>	<p>章追加による 章番号の改正</p> <p style="text-align: right;">[改正の頁は省略]</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>21章 ほ場整備工</p> <p>21.1 設計数量算出の基本的な考え方 【省略】</p> <p>21.2 整地工 【省略】</p> <p>21.2.1 整地工 【省略】</p> <p>21.2.2 反転均平工 【省略】</p> <p>21.2.3 畦畔築立工 【省略】</p> <p>21.3 客土運搬工 【省略】</p> <p>21.4 法面整形工 【省略】</p> <p>21.5 暗渠排水工 【省略】</p> <p>21.5.1 暗渠排水工の数量について 【省略】</p> <p>21.5.2 暗渠排水工 【省略】</p> <p>21.5.3 水閘管及び接続管（無孔管）設置 【省略】</p> <p>21.5.4 集中管理孔の設置 【省略】</p>	<p>20章 ほ場整備工</p> <p>20.1 設計数量算出の基本的な考え方 【省略】</p> <p>20.2 整地工 【省略】</p> <p>20.2.1 整地工 【省略】</p> <p>20.2.2 反転均平工 【省略】</p> <p>20.2.3 畦畔築立工 【省略】</p> <p>20.3 客土運搬工 【省略】</p> <p>20.4 法面整形工 【省略】</p> <p>20.5 暗渠排水工 【省略】</p> <p>20.5.1 暗渠排水工の数量について 【省略】</p> <p>20.5.2 暗渠排水工 【省略】</p> <p>20.5.3 水閘管及び接続管（無孔管）設置 【省略】</p> <p>20.5.4 集中管理孔の設置 【省略】</p>	<p>章追加による 章番号の改正</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
22章 農地造成工	21章 農地造成工	
22.1 レーキドーザ除根・排根……………	21.1 レーキドーザ除根・排根…………… 369	章追加による 章番号の改正
22.2 改良山成工……………	21.2 改良山成工…………… 372	
22.2.1 改良山成工（基盤造成工）……………	21.2.1 改良山成工（基盤造成工）…………… 372	
22.2.2 改良山成工（表土工）……………	21.2.2 改良山成工（表土工）…………… 374	
22.3 深耕及び反転客土工……………	21.3 深耕及び反転客土工…………… 375	
22.4 石 礫 除去……………	21.4 石 レキ 除去…………… 377	項目名の改正
22.5 土壌改良資材散布……………	21.5 土壌改良資材散布…………… 379	
22.6 有機質資材散布……………	21.6 有機質資材散布…………… 380	
22.7 砕 土……………	21.7 砕 土…………… 381	
22.8 耕起および砕土……………	21.8 耕起および砕土…………… 383	
22.9 ブルドーザ畑面整地工……………	21.9 ブルドーザ畑面整地工…………… 385	
22.10 鎮 庄……………	21.10 鎮 庄…………… 386	
22.11 心土破碎および透水渠掘削……………	21.11 心土破碎および透水渠掘削…………… 387	
22.12 播種施肥……………	21.12 播種施肥…………… 389	
22.13 リップドーザ岩掘削……………	21.13 リップドーザ岩掘削…………… 390	
22.14 排根線除去……………	21.14 排根線除去…………… 391	
22.15 混層耕（Ⅱ）……………	21.15 混層耕（Ⅱ）…………… 392	
22.16 隔障物工……………	21.16 隔障物工…………… 393	
22.16.1 本柱打込み……………	21.16.1 本柱打込み…………… 393	
22.16.2 支柱取付……………	21.16.2 支柱取付…………… 394	
22.16.3 隔障物架線設置工……………	21.16.3 隔障物架線設置工…………… 395	
22.16.4 隔障物付属施設設置工……………	21.16.4 隔障物付属施設設置工…………… 396	
22.17 パドック設置……………	21.17 パドック設置…………… 398	[改正の頁は省略]

改 正	現 行	備 考																																																																					
<p style="text-align: center;">22章 農地造成工</p> <p>22.1 レーキドーザ除根・排根 【省略】</p> <p>22.2 改良山成工 【省略】</p> <p>22.2.1 改良山成工（基盤造成工） 1 適用 畑地、草地の改良山成造成、区画整理、起伏、勾配修正 _____ _____ 工事に適用する。</p> <p>【省略】</p> <p>(2) 平均運土距離区分 平均運土距離の区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="184 936 1121 1751"> <thead> <tr> <th></th> <th>ブルドーザ</th> <th>ダンプトラック</th> <th>不整地運搬車</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">平均運土距離</td> <td>20m (0≦25 未満)</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">/</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr><td>30m (25≦35 未満)</td></tr> <tr><td>40m (35≦45 未満)</td></tr> <tr><td>50m (45≦55 未満)</td></tr> <tr><td>60m (55≦65 未満)</td></tr> <tr><td>70m (65≦75 未満)</td></tr> <tr><td>80m (75≦85 未満)</td></tr> <tr><td>90m (85≦95 未満)</td></tr> <tr><td>100m (95≦100 未満)</td></tr> <tr> <td rowspan="10"></td> <td></td> <td>100m (100≦110 未満)</td> <td></td> </tr> <tr><td></td><td>120m (110≦130 未満)</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>140m (130≦150 未満)</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>160m (150≦170 未満)</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>180m (170≦190 未満)</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>200m (190≦210 未満)</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>220m (210≦230 未満)</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>240m (230≦250 未満)</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>260m (250≦270 未満)</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>280m (270≦290 未満)</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>300m (290≦300 以下)</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※表にない運土距離については近い値をとる。 ※300mを超える場合は別途考慮する。</p> <p>【省略】</p>		ブルドーザ	ダンプトラック	不整地運搬車	平均運土距離	20m (0≦25 未満)	/	/	30m (25≦35 未満)	40m (35≦45 未満)	50m (45≦55 未満)	60m (55≦65 未満)	70m (65≦75 未満)	80m (75≦85 未満)	90m (85≦95 未満)	100m (95≦100 未満)			100m (100≦110 未満)			120m (110≦130 未満)			140m (130≦150 未満)			160m (150≦170 未満)			180m (170≦190 未満)			200m (190≦210 未満)			220m (210≦230 未満)			240m (230≦250 未満)			260m (250≦270 未満)			280m (270≦290 未満)			300m (290≦300 以下)		<p style="text-align: center;">21章 農地造成工</p> <p>21.1 レーキドーザ除根・排根 【省略】</p> <p>21.2 改良山成工 【省略】</p> <p>21.2.1 改良山成工（基盤造成工） 1 適用 畑地、草地の改良山成造成、区画整理、起伏、勾配修正工事のうち、<u>基盤造成の平均運土距離が100m未満の</u>工事に適用する。</p> <p>【省略】</p> <p>(2) 平均運土距離区分 平均運土距離の区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1478 936 1881 1512"> <thead> <tr> <th>平均運土距離</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>20m</td></tr> <tr><td>25m</td></tr> <tr><td>30m</td></tr> <tr><td>35m</td></tr> <tr><td>40m</td></tr> <tr><td>45m</td></tr> <tr><td>50m</td></tr> <tr><td>55m</td></tr> <tr><td>60m</td></tr> <tr><td>65m</td></tr> <tr><td>70m</td></tr> <tr><td>75m</td></tr> <tr><td>80m</td></tr> <tr><td>85m</td></tr> <tr><td>90m</td></tr> <tr><td>95m</td></tr> <tr><td>100m</td></tr> </tbody> </table> <p>注) <u>表にない運土距離については近い値とする。</u></p> <p>【省略】</p>	平均運土距離		20m	25m	30m	35m	40m	45m	50m	55m	60m	65m	70m	75m	80m	85m	90m	95m	100m	<p>章追加による 章番号の改正</p> <p>字句の削除</p> <p>表の改正</p>
	ブルドーザ	ダンプトラック	不整地運搬車																																																																				
平均運土距離	20m (0≦25 未満)	/	/																																																																				
	30m (25≦35 未満)																																																																						
	40m (35≦45 未満)																																																																						
	50m (45≦55 未満)																																																																						
	60m (55≦65 未満)																																																																						
	70m (65≦75 未満)																																																																						
	80m (75≦85 未満)																																																																						
	90m (85≦95 未満)																																																																						
	100m (95≦100 未満)																																																																						
					100m (100≦110 未満)																																																																		
		120m (110≦130 未満)																																																																					
		140m (130≦150 未満)																																																																					
		160m (150≦170 未満)																																																																					
		180m (170≦190 未満)																																																																					
		200m (190≦210 未満)																																																																					
		220m (210≦230 未満)																																																																					
		240m (230≦250 未満)																																																																					
		260m (250≦270 未満)																																																																					
		280m (270≦290 未満)																																																																					
	300m (290≦300 以下)																																																																						
平均運土距離																																																																							
20m																																																																							
25m																																																																							
30m																																																																							
35m																																																																							
40m																																																																							
45m																																																																							
50m																																																																							
55m																																																																							
60m																																																																							
65m																																																																							
70m																																																																							
75m																																																																							
80m																																																																							
85m																																																																							
90m																																																																							
95m																																																																							
100m																																																																							

改 正	現 行	備 考																																																																																																																						
<p>4) 土質区分 土質区分は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 50px;">土 量</td> <td style="text-align: center;">土 砂</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">レキ混り土</td> </tr> </table> <p><u>(注1) 土砂とは、砂、砂質土、粘性土及びレキ質土とする。</u> <u>(注2) 軟岩を掘削等によりルーズな状態としたものをレキ混り土とする。</u></p> <p>22.2.2 改良山成工（表土工） 【省略】</p> <p>22.3 深耕及び反転客土工 【省略】</p> <p>22.4 石礫除去</p> <p>1 適用 ストーンローダにより石礫を除去する場合に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 石礫除去する体積を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区 分 区分は、土質、乾湿とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>土 質</th> <th>乾 湿</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石 礫 除 去</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>積 込</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>運 搬</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m³</td> <td></td> <td>運搬距離も算出する</td> </tr> <tr> <td>畑 面 整 地</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">ha</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排 礫 堆 積 物 整 理</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m³</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 土質区分 土質区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 50px;">土 質</td> <td style="text-align: center;">砂質土（普通土）</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">粘性土</td> </tr> </table> <p><u>(注) 土質区分は次による。</u> <u>粘性土：ふるいバケット内に土が粒状に残留し易いもの。</u> <u>砂質土（普通土）：上記以外のもの。</u></p> <p>(3) 乾湿区分 乾湿区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 50px;">乾 湿</td> <td style="text-align: center;">乾燥</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">湿潤</td> </tr> </table> <p><u>(注) 作業条件は次による。</u> <u>乾 燥：土塊を握っても湿りを感じない状態で、ふるい作業に支障がないもの。</u> <u>湿 潤：土塊を握ると手のひらが濡れる状態で、フルイの目や礫に土が付着しふるい作業に支障があるもの。</u></p> <p>【省略】</p>	土 量	土 砂		レキ混り土	項目	区分	土 質	乾 湿	単 位	数 量	備 考	石 礫 除 去		○	○	m ³			積 込		○	×	m ³			運 搬		○	×	m ³		運搬距離も算出する	畑 面 整 地		×	×	ha			排 礫 堆 積 物 整 理		×	×	m ³			土 質	砂質土（普通土）		粘性土	乾 湿	乾燥		湿潤	<p>4) 土質区分 土質区分は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 50px;">土 量</td> <td style="text-align: center;">砂</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">砂質土</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">火山灰</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">粘性土</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">レキ質土</td> </tr> </table> <p>21.2.2 改良山成工（表土工） 【省略】</p> <p>21.3 深耕及び反転客土工 【省略】</p> <p>21.4 石レキ除去</p> <p>1 適用 ストーンローダにより石レキを除去する場合に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 石レキ除去する体積を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区 分 区分は、土質、乾湿とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>土 質</th> <th>乾 湿</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石 レキ 除 去</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>積 込</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>運 搬</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m³</td> <td></td> <td>運搬距離も算出する</td> </tr> <tr> <td>畑 面 整 地</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">ha</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排レキ堆積物整理</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">m³</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 土質区分 土質区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 50px;">土 質</td> <td style="text-align: center;">砂質土</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">普通土</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">粘性土</td> </tr> </table> <p>(3) 乾湿区分 乾湿区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 50px;">乾 湿</td> <td style="text-align: center;">乾燥</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">中位</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">湿潤</td> </tr> </table> <p>【省略】</p>	土 量	砂		砂質土		火山灰		粘性土		レキ質土	項目	区分	土 質	乾 湿	単 位	数 量	備 考	石 レキ 除 去		○	○	m ³			積 込		○	×	m ³			運 搬		○	×	m ³		運搬距離も算出する	畑 面 整 地		×	×	ha			排レキ堆積物整理		×	×	m ³			土 質	砂質土		普通土		粘性土	乾 湿	乾燥		中位		湿潤	<p>表の改正</p> <p>章追加による 章番号の改正</p> <p>章追加による 章番号の改正、項目 名の改正</p> <p>字句の改正</p> <p>表の改正</p> <p>字句の追加</p> <p>表の改正</p> <p>字句の追加</p>
土 量	土 砂																																																																																																																							
	レキ混り土																																																																																																																							
項目	区分	土 質	乾 湿	単 位	数 量	備 考																																																																																																																		
石 礫 除 去		○	○	m ³																																																																																																																				
積 込		○	×	m ³																																																																																																																				
運 搬		○	×	m ³		運搬距離も算出する																																																																																																																		
畑 面 整 地		×	×	ha																																																																																																																				
排 礫 堆 積 物 整 理		×	×	m ³																																																																																																																				
土 質	砂質土（普通土）																																																																																																																							
	粘性土																																																																																																																							
乾 湿	乾燥																																																																																																																							
	湿潤																																																																																																																							
土 量	砂																																																																																																																							
	砂質土																																																																																																																							
	火山灰																																																																																																																							
	粘性土																																																																																																																							
	レキ質土																																																																																																																							
項目	区分	土 質	乾 湿	単 位	数 量	備 考																																																																																																																		
石 レキ 除 去		○	○	m ³																																																																																																																				
積 込		○	×	m ³																																																																																																																				
運 搬		○	×	m ³		運搬距離も算出する																																																																																																																		
畑 面 整 地		×	×	ha																																																																																																																				
排レキ堆積物整理		×	×	m ³																																																																																																																				
土 質	砂質土																																																																																																																							
	普通土																																																																																																																							
	粘性土																																																																																																																							
乾 湿	乾燥																																																																																																																							
	中位																																																																																																																							
	湿潤																																																																																																																							

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
22.5 土壤改良資材散布 【省略】	21.5 土壤改良資材散布 【省略】	章追加による 章番号の改正
22.6 有機質資材散布 【省略】	21.6 有機質資材散布 【省略】	
22.7 砕 土 【省略】	21.7 砕 土 【省略】	
22.8 耕起および砕土 【省略】	21.8 耕起および砕土 【省略】	
22.9 ブルドーザ畑面整地工 【省略】	21.9 ブルドーザ畑面整地工 【省略】	
22.10 鎮 圧 【省略】	21.10 鎮 圧 【省略】	
22.11 心土破碎および透水渠掘削 【省略】	21.11 心土破碎および透水渠掘削 【省略】	
22.12 播種施肥 【省略】	21.12 播種施肥 【省略】	
22.13 リッパドーザ岩掘削 【省略】	21.13 リッパドーザ岩掘削 【省略】	
22.14 排根線除去 【省略】	21.14 排根線除去 【省略】	
22.15 混層耕（Ⅱ） 【省略】	21.15 混層耕（Ⅱ） 【省略】	
22.16 隔障物工 【省略】	21.16 隔障物工 【省略】	

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>【省略】</p> <p>22.16.1 本柱打込み 【省略】</p> <p>22.16.2 支柱取付 【省略】</p> <p>22.16.3 隔障物架線設置工 【省略】</p> <p>22.16.4 隔障物付属施設設置工 【省略】</p> <p>22.17 パドック設置 【省略】</p>	<p>21.16.1 本柱打込み 【省略】</p> <p>21.16.2 支柱取付 【省略】</p> <p>21.16.3 隔障物架線設置工 【省略】</p> <p>21.16.4 隔障物付属施設設置工 【省略】</p> <p>21.17 パドック設置 【省略】</p>	<p>章追加による 章番号の改正</p>
<p style="text-align: center;">23章 参考資料</p> <p>23.1 鋼矢板および軽量鋼矢板寸法質量表……………</p> <p>23.2 山留材の断面性能、質量表（リース加工製品）＜参考＞……………</p> <p>23.3 木材の設計資料……………</p> <p>23.4 土量変化率の取り扱い……………</p> <p>23.5 除根物の根元直径による体積算出について……………</p> <p>23.6 建設副産物の積算数量の算出……………</p>	<p style="text-align: center;">22章 参考資料</p> <p>22.1 鋼矢板および軽量鋼矢板寸法質量表…………… 401</p> <p>22.2 山留材の断面性能、質量表（リース加工製品）＜参考＞…………… 404</p> <p>22.3 木材の設計資料…………… 405</p> <p>22.4 土量変化率の取り扱い…………… 408</p> <p>22.5 除根物の根元直径による体積算出について…………… 410</p> <p>22.6 建設副産物の積算数量の算出…………… 411</p>	<p>[改正の頁は省略]</p>

改 正	現 行	備 考
<p style="text-align: center;">23章 参考資料</p> <p>23.1 鋼矢板および軽量鋼矢板寸法質量表 【省略】</p> <p>23.2 山留材の断面性能、質量表（リース加工製品）＜参考＞ 【省略】</p> <p>23.3 木材の設計資料 【省略】</p> <p>23.4 土量変化率の取り扱い 【省略】</p> <p>23.5 除根物の根元直径による体積算出について 【省略】</p> <p>23.6 建設副産物の積算数量の算出 【省略】</p> <p>別冊</p> <p style="text-align: center;">24章 数量計算書書式（例）</p> <p>【省略】</p>	<p style="text-align: center;">22章 参考資料</p> <p>22.1 鋼矢板および軽量鋼矢板寸法質量表 【省略】</p> <p>22.2 山留材の断面性能、質量表（リース加工製品）＜参考＞ 【省略】</p> <p>22.3 木材の設計資料 【省略】</p> <p>22.4 土量変化率の取り扱い 【省略】</p> <p>22.5 除根物の根元直径による体積算出について 【省略】</p> <p>22.6 建設副産物の積算数量の算出 【省略】</p> <p>別冊</p> <p style="text-align: center;">23章 数量計算書書式（例）</p> <p>【省略】</p>	<p>章追加による 章番号の改正</p>